婦人新報

我らの目標

世界の
平和・純潔・禁酒

六月號
(大會特別號)

基督教婦人矯風會

第三百二十八號

明治四十五年五月二十五日第三種郵便物認可
大正十四年六月一日發行(每月一回一日發行)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

徳富健次郎
徳富愛
著

小說 富士 第一卷

特製
四六判九ポイント組約六百頁
日光色染[illegible]紙三方金箱入
本文川紙コットン紙（[illegible]）
定價金五圓・送料書留廿六錢
特製千部を限り著者署名・但此分に限り御注文は發行所へ直接願ひます

並製
四六判九ポイント組約六百頁
月光色リンネット薄表紙箱入
本文川紙コットン紙（[illegible]）
定價金貳圓・送料書留廿錢

五月十日發賣

今から二十年前　私がパレスチナ、露西亜の順禮から歸るとやがて、ある日私は妻に問ひました。

「あなたは私と眞裸で銀座通りが歩るけるか？」

妻は胸をどきつかせながら答へました。

「歩るけます。」

それから二十年にして、私共は今正に眞裸で銀座街頭の書店から歩るき出るのであります。

俚語に曰く、裸で道中がなるものか。

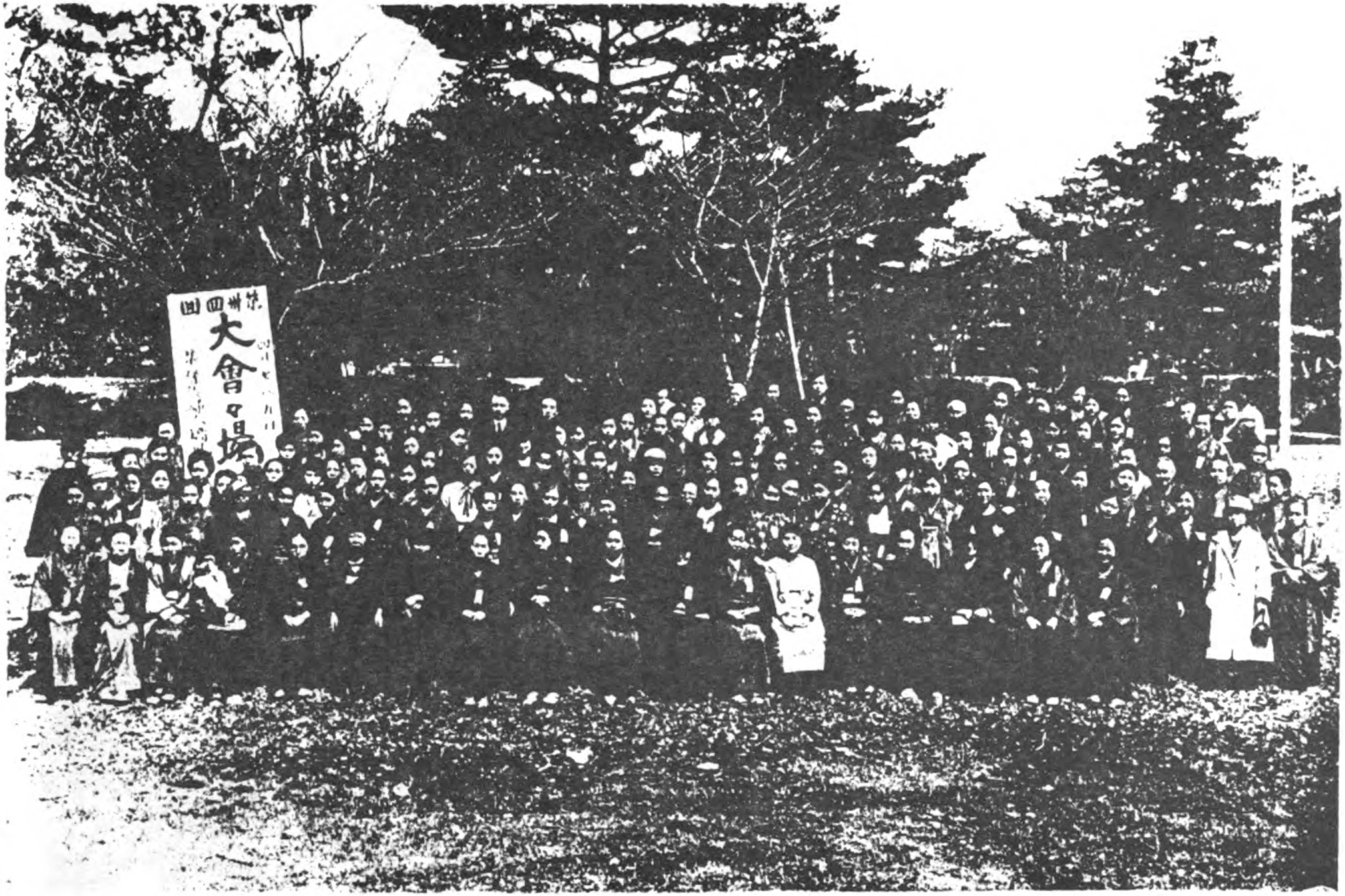
然し私共は正に裸で道中をはじめます　嚴しく云へば、裸で「富士」登山を始めます。

明治天皇皇后兩陛下銀婚式の明治二十七年に始まる小說富士第一卷が、大正天皇皇后兩陛下銀婚式の大正十四年に出るも、うれしい思出です。

二千年大地の底ゆ君さ春が
跳り出るも近し此春

徳富健次郎
徳富愛

東京・銀座通・新橋　福永書店　振替東京四〇四六六



前列向て右より三人目ミセス・ボールス・井深花子・浅田みか子・ガントレット副會頭・小崎會頭・林副會頭・川崎正子・渡瀬香芽子・曾川せき子・小泉たね子の理事諸姉・十時山陽部會長・松宮風俗部幹事　川崎氏の後久布白幹事・外國人部會長ミセス・ケナード（金澤兼六公園にて大會記念撮影）



九十三のお祝ひ日に——矢島先生・小崎會頭・守屋女史（四月廿四日東京婦人ホーム矢島寮のお室にて）

産・婦人科、小兒科

院長　吉岡彌生

副院長　吉岡房子

診察　宅診午前

毎日　往診午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市牛込區
下宮比町四番地

東京至誠病院

電話牛込三三五五番

基督教婦人矯風會 **本部假事務所**

東京市外大久保百人町三六〇番地

電話四谷六五六〇番

婦人新報社

少年禁酒軍本部

風俗部事務所

以上本部事務所内

東京婦人ホーム

慈愛館

同町二五六番地

電話四谷二五三番
八五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新發賣

ライオン齒磨

目の覺めるやうに美しい
香氣を完全に保ち清涼味ある

佛蘭西式
新意匠

丸罐入

容器は、薄淡紅色と紫紺との美しき色の配合に成り、更に阿蘭陀石竹色を點じ、その優美な形は、如何にも淸新な感じにあふれてゐます。

▽定價　金拾六錢



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三百二十八號目次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

FUJIN SHIMPO

No. 328 June 1925

CONTENTS

□少年禁酒軍參考書類□

(禁酒軍設立に必要なる印刷物)

		單價	郵稅
少年禁酒軍規則	進呈		2錢
同 案内	同		2
同 誓約書	十枚以内ハ進呈…二枚 1錢		2
同 演說課規則	進呈		2
同 懸賞演說集 1. 2. 3.	調製中	30	2
同 メタル(銀製七寶一個)		1.00	2
同 徽章(七寶一個)		25	2
少年新報	月一回發行一年分30錢	2	2

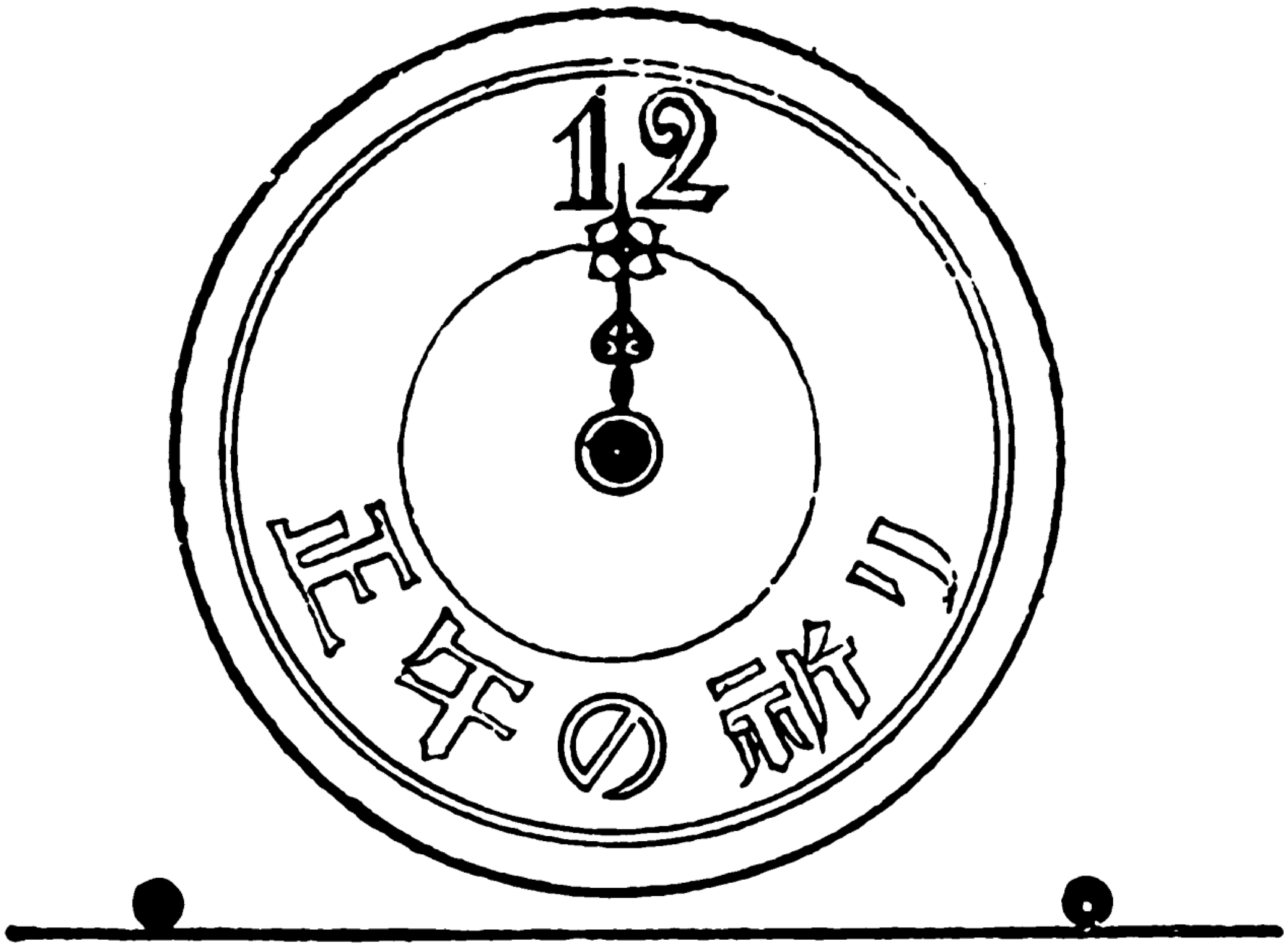
東京市外大久保百人町三六〇

基督敎婦人矯風會本部内

申込所 少年禁酒軍本部

振替東京四七四五〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



老いてなほみをむすぶてふ友垣と
世にある甲斐をともにひろはん

新約聖書の中に、年老いてなほみを結ぶ、といふ句があります、それを取り入れて、曾て、老人會の時、後藤新平氏のお母様や、徳富蘇峯氏の母上である私の姉、故久子氏等と顔を合せた折に詠じたものです。今日此頃しみ〴〵とあの頃のことが憶はれます。さうして「此故に爾曹身に於ても靈に於ても神の榮をあらはすべし」といふ聖句を、ツュスト女史の遺訓として深く考へさせられてゐます。

楫子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督教婦人矯風會第卅四回大會決議事項

一、矯風會創立四十年の記念として自給獨立の爲め義務金を倍增とする事

從來一人一ヶ月金五錢のものを、大正十四年四月より拾錢と爲すこと。これは會としては都市でも地方でも特に困難を感ずる事かと思はれます。然し會の發達上、今日は是非ともこの他に途なきを確め理事會はこれを大會に提出しました。幸ひに大會は大多數を以て、之を可決しました。どうぞこの四月から御實行を願ひます。

一、會員の倍加運動

昨年の十月全國擧つて行ひし運動により、九百十三名の新會員を得目下全國は百四十六支部、七千三百九十六名の會員となりました。大會は再び今年もこれを繼續する事を決議し、來る十月を以て募集月と致しました。昨年は倍加の實を擧げたのは全國で五つ丈でした。今年は是非大部の支部が倍加の實を擧げ得るやう勵み度いものです委員は昨年の方々に御依頼することになりました。

委員、松宮しん子、林歌子、宮川靜枝、佐野文子、橫川與野子、オキルツ姉

一、五錢袋の新方針

五錢袋を拾錢とする事

今年の目標二十萬袋（各會員月三枚宛）

其集りしものは本部と部會に切半する事

五錢袋は丁度拾年の年に入りました。僅か三四年の心持ちでしたが早や、一昔と云ふ時です。それでこゝに一大發展をとげて右の方針を立てました。これは全國七千人の會員に別てば、一人毎月に三枚弱です。それで今年は毎月送回支部長はこれを部會長に、部會長はこれを本部に送ることにしました。

▽廢娼デー　毎月十五日

▽廢娼月　每年拾月

この二つが今年の大會で、滿場一致で可決された事です。どうか全國の皆樣毎月十五日には必らず支部長の方が其會の預定數即ち廿人の會員なれば六十袋、と云つた數を部會長の手元迄送り得るやうに各自努力して御協力あらむ事を御願ひします。

一、請願八項の取扱

プログラムに出て居ます請願、懇談事項の八項は請願委員の手を經て其筋に請願する事になりました。

委員、林歌子、宮川靜枝、小出ちか子、淺田みか子

一、禁酒教育の運動方法

我國を排酒國と爲すために其根本的方法として、守屋東氏の拾年計畫の學校運動、及び林歌子氏の家庭其他に向ふポスター運動、この二つを徹底さする事、及び國民禁酒會と合同、飲酒制限の法律案を議會に提出する事。この三つによる事が最も適當と認められますから、今年は全國の支部が擧つてこの事を爲すことを大會に於て決議致しました。林氏のポスターは、どれ丈けでも注文に應じて送られます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少年禁酒軍の學校運動はたの表の示す如く、一府一縣の全小學校を引き受くるに約三百圓内外ですから、各支部合同で、其府縣を一つなり、或ひは中分なり引き受くる事を守屋氏まで申出でらるればこの上もない幸です。かくして、二萬五千の小學校を父母が抱き於ることは何と大きな働きでせう。切に御願ひいたします。

▽全國小學校數

□奥羽地方　三、〇五四校
福島縣　六五九　宮城縣　三二一　岩手縣　六一九　青森縣　五二一　山形縣　五四三　青森縣　三八一

□關東地方　三、二〇四校
神奈川　三二四　千葉縣　四四六　埼玉縣　四二三　栃木縣　四七二　群馬縣　三四七　茨城縣　六四七　東京府　五四五

中部地方　四、四九一校
靜岡縣　四八六　山梨縣　二七五　愛知縣　六五六　岐阜縣　四六九　石川縣　三七一　長野縣　六四二　新潟縣　八四〇　富山縣　三八三　福井縣　三六七

□近畿地方　二、九五五校
大阪府　四八七　京都府　三八三　兵庫縣　五九八　奈良縣　三五一　滋賀縣　二二五　三重縣　四四二　和歌山縣　四六九

□中國地方　二、四三九校
岡山縣　五九〇　廣島縣　七四二　山口縣　三九四　島根縣　五〇五　鳥取縣　二〇八

□四國地方　一、五〇八校
愛媛縣　四八六　德島縣　三一四　香川縣　二二〇　高知縣　四八八

□九州地方　三、三一九校
福岡縣　五八四　熊本縣　六一三　鹿兒島　六〇三　大分縣　四五五　佐賀縣　一八〇　宮崎縣　二六〇　長崎縣　四七四　沖繩縣　一五〇

□其他　二、六〇八校
北海道　一、五二〇　朝鮮　八五八　樺太　一〇二　臺灣　一二八

總計　二三、五七八校

一、全國支部の年會を一定する事

本部に於ける全國一覽表を作り各支部の皆樣の御用に供するのに、各支部の年會が一定せざる爲め年中絶えず變更して居られればなりませぬ。其爲め、表が切角その務を爲すのに不正確になり易いのです。それ故約そ支部の年會を一定して頂けば事務上非常に幸と思ひ、この度大會に提出しました。幸ひに皆樣の御了解を得、先づ每年一月末から二月末までの内と云ふ事に定めました。どうぞこの方針で御計らひを願ひます。

以上がこの度の大會で決定せられた重なる事項です、どうぞ皆樣擧つて今年は以上の方針に從ひ、我國の廓清、排酒、我國の救ひの爲めに力を盡して御協力あらむ事を願ひます。

大正十四年四月十三日

本部通信書記　久布白落實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第卅四回大會

久布白落實

一

今年の大會で、先づ第一に特筆大書すべき事は、七日の開會に係はらず、已に四月四日と云ふに、小崎會頭が、六名の理事と共に、早くも金澤に着せられた事です、土曜の夜着、翌日曜日は靜肅なる禮拜に出席、午後には會頭、副會頭打ち揃ふて知事、市長、各教會新聞社等を歴訪、月曜日の常置員會を迎ふるまで、心身の用意、外界の準備、凡べて機先を制して、何等手落ちなく進行致しました。

二

宿は昨年以來、金澤に於て、餘程苦心されたものと見え、本部理事、部長、部會長、代員は縣別にて五軒の旅館に分宿することになりました、本部の宿に宛てられた、源圓旅館は金澤市中でも、第一流のもので、女主人です、旅館の方針として、不眞面目な客は斷わると云ふ程に、見識を持つて、夜晩く食事などを出すやうな事も殆んど無いやうでした、從つて女中達も、多くの宿で見受けるやうに、疲勞し切つた樣子もなく、萬事誠に居心地のよい所でした、又、この女主人の骨折りで、他の旅館も、出來る丈け、物堅い家を選んで呉れたそうでした、私共の第一の印象は、かくして最も心地よいものでした。

三

第一日は、特に會場を變更して、市の公會堂で催されました、廣き正面の講壇は、已に會旗によりて飾られ、九時半井深理事は、祈の座を導かれました、十時の鈴令と共に、小崎會頭を始め十二名の理事は皆壇上に居並び、席は、來賓代員、傍聽者を以つて充されました、嚴肅なる讃美、祈禱の後、會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

頭演說は進められました、ついで知事閣下を始め、市長、其他の代表者七八名の方々の祝辭、終つて會頭の答辭あり、記念として大阪の印刷にかゝはるポスターを林副會頭より贈呈せられ、盛會裡に、會を閉ぢ、一同、金澤支部の心盡しの饗應の席に移り、大食堂に充ちつる會衆は、樂しき饗餐を終りました。

午後は、其名も高き、日本三公園の一なる、兼六公園内の兼六會館にて執行、廣き玄關の入口にて、代員各自、代員證を出して、大會袋を受け、各々着席、點呼に應じて座につきし代員百十五、プログラムの第一に入りました。

追悼會は年々の行事ですが、今年は特に、先年我國へ特派せられしウエスト女史が、此の地より天國に旅立たれし記念すべき土地柄とて、一同特に同女史を覺え、又同時に禁酒會長安藤太郎氏を覺えました。

第一日の禁酒協議會、夜の懇談會、いづれも活氣に充ちたもので、或る年には會員の倍加、支部なき縣へ支部の新設等擴張、發展、充實と一同の力は彌が上にも增すを覺えました。

四

第二日は、愈々本年の難問題、豫算、及び義務金の倍加等が例によつて、大會を賑ふて居ます、午前中代員の揃ひしもの百十九、昨日より四名を增して居ます、本部役員、全國部長、部會長の報告の後、饗餐に移り、午後より豫算にかゝりました、先づ本年の會計報告を爲し、ついで昨年度の豫算を讀み上げ會計より縷々說明する處がありました、昨年度に於ては義務金も豫定額を超え、特別寄附金も豫定額を越え、數年來會として持ち越し來りし不足も皆濟して、多少なりとも殘額を齎らして越年する事は、非常な喜びと申さねばなりませぬ　然し義務金の倍加は、會として大問題の一つです、所によつては、死活問題にも當ると云ふので、少からず質問、激論が戰はされました、終ひに、小崎議長の計らひで宿題として翌日に廻すことゝし、四時半閉會し、夜の公會演說の爲めに用意することゝなりました。

五

夜は再び公會堂に集りました、各自皆其旅館で夕食を終へそぼ降る小雨をついて、三々五々會場に入り、定刻前已に席は充つる盛況です、木原牧師夫人司會の下に先づ賞旗の授與

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が有りました、今年會員培加運動に際し、三對三十三で目標を突破せし、鳥取支部は、其榮を擔ひました、又、震災後更らに努力して、新たに婦人ホームを設けし、横濱支部は、事業發展の賞旗を授けられました、又青年部としては、同じく會員を增加せし、金澤青年部に、賞旗は贈られました。

愈々講演に移り、第一に、私は立つて、全國排酒の必要及び其可能性を『時は滿てり』と題して、語りました、次に宮川靜枝氏婦人參政權問題について語られ、終りに林副會頭は大阪市及び金澤市の統計をひきて、最も有力に、廓清、禁酒運動の必要を述べられました。

六

第三日は、午前八時より先づ一時間、風俗部の協議會に力を致し、九時より卅分足らずの祈會を開き、九時半の開會と共に直ちに昨日の預算案に移りました、靜かなる一夜の眠りに内に議はよく熟せしものと見え、朝未だ遠く進まざる内に早くも義務金倍加案は、大多數を以つて可決されました。ついで特別募金問題となり、今年の特別募金、六千八百二十圓中五千圓は當年の理事十九名が、責任を以つて之に當ること〻なし、殘額一千八百二十圓を、全國支部にて協力して造つて貰ひ度しとの希望に對し、終ひに、即刻これが募金に着手し、滿場こ〻に精力を集注して、終ひに、正午に達せぬ内、一千八百二十餘圓を得、一同感謝に充ちて、午前の會を閉ぢました。

七

最後に最も重大なる問題が殘りました、それは婦人參政權の問題です、今日まで婦人矯風會内法律部内に盛り育てられし婦人參政權協會を、今後如何に發達せしむべきか從來の如く矯風會内に繼續し置く可きか、或ひは、此際、大同團結中へ舉つて行き、共に新たなる團體を造る可きか、この事については、私も力を盡して所信を述べました、質問、討論、數刻に渡りましたが、終ひに決せず、結局常置員會に一任すると云ふ事にして、此會を閉ぢ、最後の時を閉會式にあて、紹介、感謝、挨拶の後、三九二番の別れの歌を以つて芽出度く三日の議事を終りました。

八

同夜直ちに源圓旅館にて、夕食後再び常置員會が開かれま

した、大會に於ける凡ての決議事項は、こゝに消化せられ、實行に附せらるゝ譯です、凡べての問題は次ぎ〳〵に片付けられました、然し參政權問題のみは、最後まで決せられませぬ、終ひに、本部理事に、山内郁子、松宮しん子の二姉を加へて、特別委員會を組織し、之に一任する事として當夜の最終の集會は閉ぢられました。

九

此度の大會で、最も感ずる事は、凡べての用意がよく調へられた事です、二年前からの希望によつて始まり、一月中已に金澤支部長は上京して各打合せをすませ、部會長支部役員一同は充分準備に準備をとゝのへ、大會に際しては會頭はじめ、理事、十五名中、十二名までの出席を見、ことに福井の如き、支部長山田壽雄氏は、代員の外、十四名の參列者を伴ふて出席せられ、北陸部會の一つとして「親類の物入りだから」と稱して、僅々四五十名の會員を擁しながら、百圓の土產が持參せらるゝなど、種々の挿話さへも造られて居ます、部會長ミステートの如き、大會前に、其最愛の父君を失はれ、其訃音を抱きつゝ健鬪をつゞけて下さいました。

十

理事について出席率の著しかつのたは部會長でした、報告の時に十一名は自ら出席し、他の八名は大多數其代理を送られました、又部會意識が年々其明瞭の度を加へ來る事は、喜ばしき限りです、全國百四十六支部と云ふ、可なり膨大な家族も、これを部會に別てば十九に過ぎませぬ、一人の幹事でなく十九人の責任者を有する事は、會として大なる力であると思ひます、この責任者の手によりて、訪問が行はれ、文通が行はれ、山陰部會の如き、講習會すら設けられんとする有樣です、又部會に別つて、全國中、支部なき縣下を培ふ企てが進められて居ます、又、人口二萬九千以上の都市で、支部なき處卅有餘にも、運動が試みられやうとして居ます、實に喜びの極みと申さねばなりませぬ。

十一

今年の大會で最も物足らぬ感をしたのは、守屋、二宮、城氏の缺席でした、いづれも止むを得ぬ事情の下に有られたので、詮方なく、大會は、矢島先生始め、此等の人々及び、松山、星嶋等の代議士に宛て、それ〴〵電報を發しました。

基督教婦人矯風會第三十四回全國大會記錄

大正十四年四月七日より九日迄
金澤市兼六公園内兼六會館に於て

第一日　四月七日(火)

會場書記　生松チサト
場所　金澤市公會堂

▽午前之部　九時—九時半

祈禱會

大きく期待された今大會の第一日は、讃美歌三五番聖書ピリピ書二章を以て始められ、創立四十年の歴史を持つ我會が天よりの祝福と指導とを切に求める司會者の祈りとともに尚ほ次ぎ〳〵に熱心なる姉妹によつて繰返され一同主の祈りに和して閉會。

開會式　午前十時

ミセス、ウヰンの妙なる奏樂、續いて讃美歌四七二番カントレット副會頭の聖書、ヨシア記、一ノ六—九。ピリピ書三ノ一三—一四朗讀、林副會頭の祈禱の後一同起立、耳新しく、力強く、宣言書朗讀、ミス、マイスルの喜ばしき獨唱に、しばし耳を傾け、「願くば心を强くし且つ勇みつゝ地上の正義人道のために、我等の目標をひつさげて突き進みたい」との小崎會頭の奨勵に感激し、大阪、川邊姉の動議を入れて一同、會頭の辭に答へて挨拶をなす。

來賓祝辭

石川縣知事長氏の祝詞に續いて、相良市長渡邊郵便局長、北陸女學校長中澤氏、笠井育成院長、瀬尾金澤婦人會々長、基督教會を代表して秋保牧師の祝辭ありこれに對し小崎會頭の謝辭ありミス・イートンの獨奏に新しき氣分を漲らせつゝ議題提出に移る。

議題提出

一、廢酒に關する件
一、廢娼に關する件
一、婦人參政權に關する件
一、平和の確保と其の方法
一、財務に關する件
一、全國支部巡回に關する件

議題に就きて久布白幹事の説明あり、祝電其他の報告あり、この大會席上より大連の飯田いせい姉、矢島前會頭、守屋幹事、神戸城のぶ子姉、横濱二宮わか子姉に見舞の電報を送ることに決し、十時、久布白の兩姉委員に選定さる。次で小崎會頭の正午の祈りに一同貰に心を協せ主の祈りによつて午前の集會を終る。

歡迎晝食

金澤支部員及其他有志の方々の御厚意による御馳走は金澤支部長中村直子姉の司會に始り渡瀬理事の食前の感謝によつて一同テーブルにつき尚支部長の挨拶ありて九州部會長和田くに子姉感謝の辭を述べ各支部各部會代員の紹介等あり食を共にせし者毀百七十餘名。

▽午後之部　午後二時

場所　兼六會館内

追悼會

司會者　林副會頭

讃美歌三五七番、會衆一同にて唱ひ司會者の聖書詩篇九〇篇の朗讀あり、岡山支部、坂本鶴子姉は死に至るまで忠信なりし戰友の氏名を朗讀せられ、本部理事、淺田みか子姉作成の追悼文を旭川支部長佐野文子姉代讀さる。次いで司會者は、

「來年の大會には誰がまた追悼されるか判ら

ぬ、凡てが秘密にかくされてあるのは神様の大いなる恵みであり幸である 天にて聖友の靈は我等を勵ます、我等はその勵ましによつて一日を一生として奮闘努力せねばならぬ」との熱誠なる追悼の辭とゝもに涙の祈りはしめやかに續き、しばしのほどは聖國に住める友との靈交を、結びやがて逝ふべきその面影を偲んでつきないこの集りは北陸の女學校有志の追悼の歌によつて閉ぢられたのである。午後二時四十五分散會。

出席代員點呼

代員點呼とゝもに會場整理、代員出席壹百十五名、祝電披露

臺南支部、帶廣支部、別府支部、廣島支部

名古屋奥澤姉、矢島副會頭、守屋幹事

聯濟會、臺灣丹下姉、青年部長 澤きみ子姉

協議會

司會者 ガントレット副會頭

讃美歌、三六番司會者の祈りによつて會を始む、廢酒部協議會

廢酒部長西野貞子姉、少年禁酒部長 守屋姉の兩氏御缺席のため細密なる報告は後日に讓り、其大略をガントレット副會頭は說明さる

先づ少年禁酒軍の活動に就ては、昨年より數育運動を始められ日本全國小學校約二萬五千校に禁酒ポスター及び兒童煙草の話(小冊子)を各校に寄贈し宣傳につとめ、その資金募集方法は、一校分費用を五十錢として小袋を作り各團體及個人より集めることゝし、すでに其の基礎は定まり、向ふ十ヶ年の計畫によつて運動は始められつゝある。又大阪支部に於ては禁酒國民敎育ポスターを發行して家庭的に敎育運動を開始されるとともにこれを販賣して財務の働きをも助けられつゝあることは實に東西相俟つて本年は實に目覺しい働きをなされたのであると報告された。實に感謝である。

次いで各支部より禁酒方法に關しての實際經驗談及びその活動振を傾聽す。特に平塚支部にては花見時節の特別運動として花見の揚所で酒を賣らぬこと、藝者の見番を許さぬこと。假裝を止めて貰ひ度きこと、等を縣廳に請願されて許可になつた。その努力を一同は感謝した。

ガントレット副會頭は更に禁酒法案成立の贊助員である星野醫學博士を紹介する。氏は現時アルコールに對する世界の態度及び性病に就いて御感話あり實際的に徹底せしむるには法律萬能でなくして、人道の本性から考へてなされればならぬとの數々の敎へを受け一同に代つて司會者は謝辭を呈す。

協議事項

一、國家的廢酒を如何にして實現せしむべきか　本部提出

二、酒類釀造制限に關し其筋に請願するの件　芝支部提出

三、大會の決議を以て內務大臣に未成年者禁酒禁煙の取締を嚴重にせらるゝやう陳情するの件　德島支部提出

四、小學校兒童に禁酒敎育を行はんがため講師を派遣せられたき件　福岡支部提出

五、小學校讀本中に禁酒禁煙に關する個條を加ふる件　盛岡支部提出

久布白幹事の動議により第二第三項は請願委員に附托することに決し第四項は守屋幹事及び全國各支部會員がこれにつとめることに可決す。

第一項に就きて先づ林副會頭が熱心此の說明にあたり其の方法について種々協議する所あり、第四、第五項を協議することに決し福岡支部長和田姉は禁酒ポスター及び煙草の話を受けた各學校に、更に講師を送つてその理解を充分に得なければならぬと述べられたに對して司會者は、既に守屋姉に其の計畫案があること及び久布白幹事は會員の一人〳〵が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

責任をもつてこれに接して行きたいとつけ加へられた。

第五項に對しては、提出者の說明とゝもに高知支部横川姉は特に各支部の禁酒部長に努力を求めたきこと及びSSとの聯絡をとるとはこれに對する第一步であると實際經驗を語られ、平塚支部西森姉は學校當局に依頼することは有効であり我支部ではこれにつとめてゐると。次いで大阪川邊姉は母等に理解を得るのが大切である。大阪飼宮姉は、幼稚園及びSSの兒童を通じて禁酒する親のあること其他種々の經驗談を述べられて敎へられること多大であつた。

結局この件は、久布白幹事動議あり林姉賛成大會の決議として、禁酒部長に依頼することに、滿場一致可決した其に加へて、少年禁酒軍の大運動を完成せんために大阪支部販賣の禁酒ポスターを買つて財務の方を助けることに各支部が協力し禁酒會と協同して法律運動にも努力すべきこと等は拍手をもつて可決せられたのである。大阪川邊姉の閉會の祈禱によつて午後の集りは終りを告げた。

懇話會

（YWCA（第六會館））

▽夜の部　七時―九時

司會者　十時菊子姉

懇談事項　は十三件

□全國支部年會を一定すること　本部提出

□會員一萬人募集に就て

□禁酒禁煙に關する件

1 全國の列車內の禁煙に就てその運動方法如何　吳支部提出

2 全國列車內の禁酒に就てその運動方法如何　平塚支部長　比企清子氏提出

3 列車內に於ける飲酒喫煙、その他他人の迷惑になる如き行爲を愼むやう鐵道省に請願するの件　大阪支部提出

4 列車內に禁酒禁煙車を設くること　盛岡支部提出

□風俗に關する件

1 蓄妾の弊風を矯正する良法如何　新潟支部提出

2 小學兒童の教養と敎育者の私生活に就　德山支部長　工藤すみ子氏提出

□全國支部巡廻に關する件

1 部會長出張應援の時期及びその費用に就て　兵庫部會長　渡邊常子氏提出

□會員としての使命を盡さんがため修養部と交際部の働きを如何に實行すべきか　福岡支部提出

□有名無實のこの部の働きを如何にして有効ならしむべきか　文書部長村岡花子氏提出

□全國各派教役者に我會の理解を得る最適の方法如何　德島支部提出

□婦人新報に今一層實用向の記事を加へられたきこと　鎭南浦支部提出

（一）全國支部の年會を一定する事に就いては種々の意見もあつたが結局特別の事情ある支部の外は每年一月末から二月末までの內と決定

一萬人會員募集に就いて昨年の結果を松宮しん子姉報告され、責任をもつて確實に倍加されし支部は、左の通り

鳥取支部	三一人―三三對	前橋支部	一六人―一六對
旭川支部	三〇―三〇	札幌支部	三三―三〇
高松支部	三〇―三〇	米子支部	三四―三三
盛岡支部	一九―一九	大邱支部	二八―二七

數に於ての大多數は大阪支部の六〇名吳支部の四〇名等あり。

其の結果新會員九一三名を得目下全國で、四六支部七三九六名の會員を有するに至る。大會はこの運動を繼續することに決議し來る十月を募集月と定めて倍加の實を擧げることを約す。かくて委員は昨年の方々に繼續して頂くやう滿場一致にて懇願依賴す。

（二）禁酒禁煙に關する件　につきての四項は久布白幹事動議により委員に一任すること

に可決す。

（三）風俗に關する件　第一項にて種々の意見經驗談もあつたが委員を小出ちか子姉（新潟支部）、岡姉、松宮姉、宮川姉、久布白姉に選定一夫一婦の請願を復活することに滿場一致にて可決。

第二項につきても其の實際方法は次ぎから次ぎへと話に花が咲き結局は文部省及び其他の官廳に教育者の飲酒不品行についての取締方を依賴請願し一方、新聞、其他の機關雜誌によつて輿論を喚起するとゝもに、處女會、青年會を善導し合せて活動寫眞を利用して宣傳につとめ電車内其他に廣告を善用する等、各支部長及び會員各自が責任をもつてこの目的に添ふやうに努力することに議決し定刻を過ぎること四十分にして閉會す。

當夜の茶菓は金澤市各教會の婦人會より贈られしものにしてキリストの精神は何處如何なる處にも滿ち溢れ居ることは實に我等の感謝する所である。

報告

家庭部相談會　八日午後一時—二時迄
青年部集會　同　四時—五時迄
財務部相談會　九日午後一時—二時迄

希望

和田姉の動議により重大な決議事項丈は際彩版にして配付して頂きたいとの希望によつて委員は選擧されし井深姉の行き屆いた注意によつて解除することに決定する。

第二日　四月八日(水)

會場　兼六會館

會場　一瀨照子
書記　生松チサト

祈禱會

司會者　二宮わさ子姉

讃美歌三六番聖書エペソ書六ノ一〇—司會者の熱心な祈禱が濟んで、讃美歌二五八番を唱ひ二三の姉妹の眞心こめた祈りは惠みの座にある凡べての人を感激せしめ一同主の前に心を協せて閉會す。

報告會

午前九時半—十一時

讃美歌二六一番聖書馬可十一ノ一の朗讀小崎會頭の祈禱ありて會員點呼に移り、出席一一九名。

祝電披露

大阪支部　堀内姉　朝鮮京城支部
福岡八幡支部　滿洲大連支部より受く

前日の記錄を朗讀、清水姉の報告受入れの動議岩瀨ゆき子姉の贊成全會一致可決す。

▽本部通信書記報告　久布白幹事記錄書記巡回リストの報告及び說明あり、横川姉受入れの動議清水姉贊成し全會可決

▽婦人新報報告　宮川靜枝姉

震災後の困窮狀態より守られつゝ現在に至りたるを感謝されると同時に將來に對する抱負をも語られて會計報告に入る二三の質問に答へられし後十時姉の感謝受入動議。濱谷姉贊成の聲に應じて滿場一致可決。

合唱

可愛らしいミセス、ウインの令息令孃は美しい聲で美事に合唱され引き續いての集會に疲れ勝ちな頭も引きしまつた心地になり、拍手は會場に滿つ。

▽青年部報告　ガントレット青年部長

▽少年部報告　守屋少年禁酒軍長報告代讀共に受入れ動議を釘宮姉、贊成林姉、全會可決

部長報告

▽家庭部報告　川崎正子姉
▽社會部報告　守屋東姉代山內輝子姉
▽法律部報告　城のぶ子姉代　植村姉
▽財務部報告　小泉たれ子姉
▽教育部報告　佐藤隆子姉

以上の報告受入れの動議釘宮姉、賛成川邊姉、全會可決

部會長報告

▽北陸部會長　ミス・テート
▽上　州〃　堀江　最中姉
▽東　京〃　井深　花子姉
▽相　駿〃　二宮姉代高　木　鐸　姉
▽甲　信〃　渡邊しげ子姉
▽京　都〃　東　ます子姉
▽大　阪〃　清水　種子姉
▽兵　庫〃　渡邊　常子姉
▽四　國〃　岩瀬　壽子姉
▽高　知〃　砂川姉代横川とよの姉
▽山　口〃　十時　菊子姉
▽九　州〃　和田くに子姉
▽台　灣〃　丹下姉代堤姉
▽滿　洲〃　飯田姉代　劉　姉
▽外人部會長　ミセスケナード
▽山　陰〃　城姉代植村たき子姉
▽北海道〃　岡田姉代佐野　文子姉
▽海外部上海代表　渡邊　常子姉

僅か一分間での報告では思ふことの萬分の一も話されぬことを嘆き給ふ部會長もあり、マラソン競走の如き速力で部會長の報告は終りを告ぐ。

御紹介

マーク・ショウ氏をガントレット恒子姉紹介さる。

氏はメソヂスト教會の禁酒部長の任にあり我會のためには早くより多大の御同情御努力とを與へられ、殊に少年禁酒運動には一方ならぬ御援助を受けしことは誠に感謝の至りである。この大會で我會の規則第一三條四項に參照して氏及び夫人を本會の名譽會員に推薦しては如何との動議により滿場一致拍手して起立賛成可決。

▽午後之部　二時より四時

司會者　小崎會頭

北陸小學校附屬幼稚園の遊戯

花の樣な可愛らしい子供の遊戯には、涙ぐまれるまでに慰めを受け老ひも若きも今一度幼き者になりたいとの考へを胸に抱き可愛き子供の將來に幸あれと共に祈る。

報告會

讃美歌一五一番、渡邊常子姉の祈りによつて新らしい氣分を持ち、プログラム變更によつて風俗部協議會に入る。

風俗部協議會

司會者　久布白風俗部長

▽會計報告

生松チサト

坂本姉の會計報告受入動議出で二宮姉賛成滿場一致可決

▽風俗部經過報告と新方針

久布白部長は過去九年間苦戰の歷史を語られ、更に將來に向つての新方針即ち

1　五錢袋を十錢袋とすること
2　今年の目標二十萬枚(各會員月三枚宛)
3　其の集りしものは本部と部會とに折半すること
4　廢娼デー　毎月十五日
5　廢娼月　毎年十月

以上の箇條悉く滿場一致可決さる。

即ち全國七三九六名の會員に廿萬枚の小袋を配付してこれを毎月十五日に集めんとするには一會員が三袋集める事になり部會長は之を集めて本部に送金することになる。

其他小袋の發送、分配に就いても種々協議する處ありしが其の實行方法を定むる爲研究會を明朝八時より九時迄に開くことに決定。

▽對議會運動報告

松宮しん子姉

詳細は婦人新報三二七號に記載してあることなれば松宮姉大略を述べらる、松山代議士の最後迄の戰ひも一六七對五三の否決をうけ苦境に陷りたるも必勝は目前に近づきつゝあ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ることに我等は教へられて强められた。「笛吹けども踊らず嘆うてども悲しまず」との聖言葉は常に先驅者としての悩みであり、又、誡めである。大會は林副會頭を委員として、松山代議士及び星島氏に感謝の意を表すべく直ちに電文を發した 又松宮姉は委員長として廓清會と聯合運動に非常なる熱心と努力と犠牲とをもつて盡されしことに感謝して一同謝辭を表す。

本部會計報告

讃美歌二五三番を唱ひ、皆川會計及小畑ため子姉の會計報告あり。

清水姉受入動議十時姉賛成感謝を以て滿場一致可決。

豫算報告

本會創立四十年紀念として自給獨立のため維持金を倍加卽ち十錢となすこと、宿題として明朝迄延期さる。

▽夜の部　午後七時より

公會堂にて　司會者　木原村子姉

獨奏

賞旗授與式

1優勝旗　鳥取支部
會員增加の著しきため

2矢島賞旗　橫濱支部

3青年部賞旗　金澤青年部

4少年禁酒軍優勝旗　東京婦人ホーム少年禁酒軍

公開演說會

新事業發展の爲め　辯士　久布白落實　宮川靜枝　林歌子

第三日　四月九日(金)

▽午前之部　八時より九時迄

會場書記　一瀨照子　生松チサト

風俗部研究會

一、募金方法に就きて　松宮姉說明

二、昨年の募金方法に就て　久布白姉說明
小袋を送つた場所は
全國各支部全國教會　男女青年會
宗教女學校同窓會　工場、諸團體、其他
個人に配布

安藤たけ子姉は昨年ほどこの小袋の宣傳の實によく行き屆いたことはない至る處でこの小袋の姿を見たことは實に感謝であると述べらる。

三、範圍を定めて部會に一任すること

其他種々の協議を重ね時間にせき立てられ殘部は常置員に委任して滿場一致可決。

新部會　九時—九時半

司會　林副會頭

讃美歌八一番聖書朗讀路可二二ノ四二—五三、コロサイ、二—二三　あたかもキリストの御受難日にあたることなれば一同ゲツセマネの園を胸に浮べ「主よ我も跡につかせ給へ」と、皆一つ心に、更に祈りを深くして閉會。

協議會　司會　小崎會頭

代議員出席點呼　一一九名中三名遲刻の外全部出席。

讃美歌二三三番、聖書馬太二六章、名古屋鈴木薫子姉、朗讀、祈禱北海道小岸くら子姉

祝電披露
キリスト教聯盟　加古川支部
高岡支部　北海道岩見澤支部
倉敷支部　洲本支部

前日の記錄朗讀

二三の修正の後久布白姉感謝を以つて受入動議、高知、岡かめ子姉賛成、滿場一致可決。

役員理事補缺

1記錄書記
守屋幹事の辭任によりガンドレット副會頭に後任大會はこれを御依頼することに
一同賛成可決

2理事補缺

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ミセス・ピヤソン御歸國に依りミセス・ボールスを大會は御依頼するやう、承認。

3 交際部長補缺

野村みち子姉辭任により 横濱城戸順子姉を選び大會はこれを承認、委員は交渉の任にあたること。

4 財務部長小泉姉は 都合上部長の辭任を申出られしも大會は 引き續き御盡力あるやう懇願す。

5 外人部長補缺

ミセスピアソンの辭任後を ミセスケナードに御依頼すること

以上 拍手して滿場一致にて可決

豫算案協議繼續

豫算案朗讀、皆川姉說明

義務金倍加の討議

年また年と會計は不足を生じるので 本年は思ひ切つて倍額になすの 外途なきを確めて理事會の承認を經大會に計つた結果、種々の討議あり横川姉はこの問題は 支部の死活問題なるも本部が獨立する以上是非とも 必要なること故その實際方法について 研究したしと希望を述べ神戸の渡邊姉は、 大會はこの件を通過させ各支部はその支部の力に應じて ベストを盡すことにしては如何。

有田姉は、 義務金倍加の問題は會員募集について障害はなきか其他 種々の問題も出でそれに對して十時、坂本、淸水、川邊、久布白姉等の經驗計畫も語られ、結果 川邊姉の受入動議により十時姉賛成織問題 として案ぜられし此案は滿場一致に可決。

この一ヶ年間、 托せられた使命として貧乏世帶をやりくりして苦心慘膽せられし 皆川姉、小畑姉の喜びは申す迄もなし。然し、 決議のみに終らずして是非とも每月 御送附ありたしと希望を述べらる。

▽補足募金問題

六八二〇圓の中、 五〇〇〇圓は 本部理事が負擔することを申出でられ 殘額一八二〇圓を大會に協議し僅かの時間に於て 一八四五圓一五錢の募金をなすに至れり 實に感謝すべきことなり。

城のぶ子姉代、 會計審査員 十時菊子姉審査の結果報告あり、感謝を以つて 大會受入承認。

正午の祈り

讃美歌一五一番、 林副會頭の 祈りに續いて主の祈を以て午前之集會閉會

▽午後之部　二時―四時

ミセス・ウキンの獨唱に始り 幼稚園生徒の遊戯には老ひも若きも涙を浮べて 喜び長田姉の祈禱によつて協議會に入る。

婦人參政權問題

司會　宮川　靜枝

1 婦人參政權協會の會計報告 宮川　姉

2 活動の情況報告　久布白姉

此の運動には公娼廢止の 立場より是非とも婦選獲得といふことを 痛感せられるのである。特に大多數の婦人は無財產であり 母權もない加へて、職業婦人四百萬人もある 現今に於て は是非とも家庭生活完成のために 又職業婦人保護のために又市、町、 村に於ける權利要求のためにもこの運動は善良なる日本婦人の 手にてな さなければならぬ。

三千萬婦人の生命を考へて この運動に全身を投げ込む諸姉が各地から起るなら 容易に解決されるものであると述べ、婦人 參政權獲得期成同盟會に就いての起原 及び同じ目的の下に活動を續けて來りし 他の婦人團體との關係情意並に其の內容、 組織に就いて 種々語る處あり、 我會の婦人參政權協會を解散して、 新に獲得期成同盟會に入會するとの問題も出で十時、 川邊、 釘宮、 坂本、 川崎、 林、 小泉、和田の諸姉は之に對して 種々の質問希望を述べ、久布白、 ガントレツト夫人、 之れに答へて理解につとめ和田姉は我會が擧つて この團體に參加することは重大問題なれば 委員を設

げて熱慮研究をしては如何との動議出でこれを常置員全部に委託することに滿場一致可決かくて多大の興味と眞實さとをもつて期待されてゐた此問題も無事に終了。

其他の協議

1市町村に於ける名譽職選擧に際し本會がとるべき態度に就きて　芝支部提出

2種々協議した結果研究會委員と井深姉とに依頼することに大會は決議

殘りの請願事項について

イ、娼妓稅廢止請願

ロ、貸座敷業轉業者へ奬勵低利資金貸與の請願　九州部會長　和田くに子姉提出

以上滿場一致にて請願委員に附托することを可決す。

請願委員　林歌子、宮川靜枝、小出ちか子、淺田みか子諸姉

平和の確保と其の方法

司會　ガントレット恒子

信報部を設置してこれを守屋姉ガントレット姉に一任することに大多數可決。

財務部相談會

司會　小泉種子

一、朝鮮に千町歩の拂下を願ふの件
二、チエンストワー設置の件
三、活動寫眞の件
四、賛助員を作ること
五、誕生献金を募ること
六、財務の働きとして最も利益多くしかも教育的なる方法なきか　吳支部提出

以上の原案提出によつて種々懇談、又は協議を重ね定刻を過ぎること三十分にして閉會

雜務

來年度の大會開催地の第一候補として名古屋支部選定さる。此れについての事項は本部に一任さる緊要動議として、本年度より大會開催地に各支部から幾何の土産金を持參することに拍手可決。

閉會式　四時半—五時

小崎會頭の母心の溢れた奬勵の言葉とゝもに金澤支部に對して眞心こめた謝辭をなし金澤支部を代表して中村姉の御謙讓なる挨拶あり、一同無言の裡に一禮して深き厚情を謝し會頭は再び本部實務の方々の紹介あり特に大會記錄書記の任にあたつた一瀨、生松姉の勞を謝すと述べられ、「又逢ふ日まで神のみ惠豊かに」と互ひに握り合つた手をやがて東、西、或は南北へと歸り行く寂しき別離に、涙を呑みつゝ主の前によつて惜しき三十四回大會は閉ぢられたのである。

（大正一四、五、一三、生松チサト）

本部役員報告

本部記錄書記報告

守屋東代理　久布白落實

▽一ヶ年間理事會開催度數　十六回、委員會數回

▽一ヶ年間の重なる事項

1 六月末　日米問題について全國より代員を招き、日米問題に關する研究會を開く

2 七月一日　無酒デー擧行、學生排酒同盟と協同

3 九月一日　震災記念運動、聯合婦人會と協同

4 十　月　壹萬人會員募集

5 十一、十二月　少年禁酒軍第二回禁酒講習會開催學生排酒聯盟と協同婦人參政權運動

6 一、二、三月　風俗部運動議會運動

本部通信書記報告

久布白落實

一ヶ年の新設支部　七ヶ所

一ヶ年の新會員數　九百十三名

新支部の部會別

北海道　名寄

東北　青森

北陸　新潟

東京　大久保

高知　藤西　須崎

山陽　高梁

巡回リスト報告

（自大正十三年四月
至大正十四年三月）

＜部會名及び其所屬支部名

1 北海道　小樽　札幌　留萌　旭川　帶廣　野付牛　瀧の川　室蘭　岩見澤　以上（久布白落實氏巡廻）

2 東北　弘前、盛岡、仙臺、秋田、青森　宇都宮　以上（久布白落實氏、守屋東氏、西野貞子氏巡廻）

3 上州　藤岡、高崎、前橋、安中、沼田　伊勢崎以上　小崎千代子氏、宮川靜枝氏、小泉たね子氏、松宮しん子氏巡廻）

4 北陸　富山、金澤、福井、新潟以上（ガントレット恒子氏、松宮しん子氏巡廻）

5 相駿　相州、平塚、濱松　以上（久布白落實氏、城のぶ子氏、川崎正子氏巡廻）

6 甲信　甲府、辰野　以上（ガントレット恒子氏、宮川靜枝氏巡廻）

7 京都　名古屋、京都、四日市　以上（久布白落實氏、林歌子氏巡回）

8 大阪　大阪、堺、奈良、郡山、和歌山　以上（久布白落實氏、林歌子氏巡回）

9 兵庫　神戸、明石、洲本、加古川、篠山、以上（渡邊常子氏城のぶ子氏巡回）

10 四國　高松、坂出、丸龜、今治、松山　德島、富岡、美馬、以上（林歌子氏、十時菊子氏巡回）

11 高知　高知、藤西、須崎　以上（林歌子氏巡回）

12 山陽　廣島、岡山、笠岡、福山、吳、高梁、德山、下之關　以上（久布白落實氏、林歌子氏　渡邊常子氏、十時菊子氏、城のぶ子氏巡回）

13 山陰　峯山、倉吉、米子、鳥取

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

14 東京　赤坂、神田、志木、大久保
以上（城のぶ子氏巡回）
以上（守屋東氏、松宮しん子氏
久布白落實氏巡回）

15 九州　門司、小倉、八幡、若松、福岡
大分、別府、佐世保
以上（林歌子氏、久布白落實氏
巡回）

16 臺灣　臺北、臺中、臺南
以上（守屋東氏巡回）

17 朝鮮　平壤　京城、仁川、大邱、釜山
大田、鎭南浦
以上（城のぶ子氏、古田とみ子
氏巡回）

18 青年部　共立女子神學校　金澤青年部
普蓮土女學校、北陸女學校、同
志社女學校
以上（ガントレット恒子氏巡回）

支部數　九十四（百四十六の内）
巡回せし人々　十三名
部會長の訪問は此内に含まず

會計報告

本部會計報告

（自大正十三年三月　至大正十四年二月）

本部會計　皆川せき
同　實務　小畑多芽

◇收入總額　一四、四三六、九一

前年度繰越高	四二五、九三五
第一項　本部收入	
1 義務金	三、〇九三、三〇
2 基本金利子及預金利子	四九六、〇二
3 萬國本部規定寄附	一、〇〇〇、〇〇
4 補足募金	九、二六一、七七五
5 雜收入	四四、五〇
第二項　會館收入	
1 電話料金	五、三八
2 會館修繕利子	一一〇、〇〇

◇支出總額　一四、四二六、〇二

第一項　本部經常費	
1 萬國本部義務金	一二〇、〇〇
2 事務費	七、八五六、四三
3 大會費	五四二、五七
4 部長部會長費及巡回旅費	一、三五三、四〇
5 青年部	二五〇、〇〇
6 少年部	二七五、〇〇
7 臨時常置員會費	六三三、九四
8 返濟金	一、九二〇、〇〇
第二項　本部會館維持費	一、四七四、六八

內譯

▽事務費明細（總額七、八五六、四三）

俸給及謝禮	五、〇八〇、〇〇
印刷費	一八一、八五
通信費	二六四、五四
備品	四五、〇〇
圖書費	四三、二六
電話料	一五六、七三
徽章代	一六二、五〇
筆墨消耗品	一三六、七〇
外賓接待費	二〇三、七八
交通費	二四〇、七七
交際費（國際聯盟、基督教聯盟、市民クリスマス、其他）	二五四、五〇
臨時費	二二七、三〇
一萬人會員募集	五九、五〇
婦人新報補助	五〇〇、〇〇
平和運動費	三〇〇、〇〇

▽大會費明細（總額五四二、五七）

會場費	五〇、〇〇
印刷費	三一、五〇
演說會費及謝禮	七五、〇〇
通信及筆墨費	七、六〇
大會用具	九〇、四〇
交通費	三、〇五
役員及職員旅費	二〇〇、〇〇

滞在費　七五、〇五
雑費　九、九七

▽臨時常議員会費明細（総額六三三、九四）

印刷費　六、二五
筆墨費　一七、二五
通信費　六、五〇
謝禮　一一三、〇〇
旅費　二七七、五〇
滞在費　二一三、四四

▽活動費明細（総額一、三五三、四〇）

部会長費（十九名）　六一二、〇〇
部長費、（十名）　二六七、〇〇
巡回旅費　四七四、四〇

▽会館費明細（総額一、四七四、六八）

電燈料　一二五、九九
瓦斯及薪炭料　八七、七五
保険　一五二、一五
税金　二六、五八
給水料　二七、二五
衛生費　九、六〇
交際費　五九、〇〇
備品　六一、〇〇
修繕費　一七六、二二
謝禮及手当　四七〇、〇〇
臨時費及雑費　二八九、一四

◇差引残高　一〇、八九

大正十四年度本部
会計豫算

◇総収入　一五、〇〇〇、〇〇

内訳

義務金（十銭宛六千人分）　七、二〇〇、〇〇
基本金利子（五千圓也不動産）　四八〇、〇〇
風俗部指定寄附　五〇〇、〇〇
募金金額　六、八二〇、〇〇

◇総支出　一五、〇〇〇、〇〇

内訳

一、萬國本部義務金　一二〇、〇〇

二、事務費　▲八、八五〇、〇〇

矢島先生恩給　三六〇、〇〇
俸給及謝禮　五、八三〇、〇〇
印刷費　二二〇、〇〇
通信費　二四〇、〇〇
備品　六〇、〇〇
図書費　一二〇、〇〇
電話料　四〇〇、〇〇
諸団体共同費　三〇〇、〇〇
筆墨費　一二〇、〇〇
交通費　二〇〇、〇〇
交際費　三〇〇、〇〇
理事会費　五〇〇、〇〇
臨事費　一五〇、〇〇
雑費　五〇、〇〇

三、大会費　▲七九〇、〇〇

会場費　一〇〇、〇〇
印刷費　六〇、〇〇
通信費　一〇、〇〇
筆墨費　一〇、〇〇
大会用具　四〇、〇〇
交通費　一〇、〇〇
旅費（理事、職員）　五〇〇、〇〇
雑費　六〇、〇〇

四、活動費　▲二、九五〇、〇〇

部会長費（十九名）　九五〇、〇〇
部長費（十名）　五〇〇、〇〇
巡回旅費　一、五〇〇、〇〇

五、会館費　▲二、二九〇、〇〇

税金　二〇〇、〇〇
保険　三五〇、〇〇
電燈料　一二〇、〇〇
瓦斯及薪炭料　二五〇、〇〇
給水料　五〇、〇〇
衛生費　二〇〇、〇〇
備品　三〇〇、〇〇
修繕費　一〇〇、〇〇

手當	四〇〇、〇〇
交際費	二〇〇、〇〇
雜費	一二〇、〇〇

基本金會計報告

寄附金累計額	一四、六九六、五七
昨年度報告濟	一四、五六五、〇七
十三年度寄附額	一三一、五〇

寄附者芳名

野島ふさ子氏	四、五〇
渡邊金三氏	四〇、〇〇
久布白落實氏	三〇、〇〇
佐々木ノブ子氏	二〇、〇〇
佐々辰子氏	二、〇〇
服部キミ子氏	一〇、〇〇
屏東本島基督教會有志	一〇、〇〇
劉文詩氏	一五、〇〇

會館建築會計資金

收入寄附總額	参四、九八一、一六

寄附者芳名

伊藤氏御扱（米國サンピトロ市）	三二四、三二
米國婦風會	二五二、六三
サツザヤ夫人	五三、〇〇
宮內省御下賜金	一、〇〇〇、〇〇
火災保險金	六五〇、〇〇
米國婦風會	一、三七二、七八
ランゲー婦風會	六二、五〇
在日本外人婦風會	五七〇、〇〇
同バイブルクラス	三八、〇〇
內務省下附復興資金（三菱銀行定期預金）	参〇、〇〇〇、〇〇
定期預金利子	六〇九、八六
預金利子	四八、〇七

支出

內務省下附復興資金ノ內金壹萬圓ハ指定ニヨリ婦人ホーム復興費ニ別ツ

差引現金　二四、九八一、一六

特別會計報告

會計　川崎正子

（御大典紀念、海外派遣資金）

收入額	二六〇、〇〇
支出額	二五、〇〇
差引殘高	二三五、〇〇

以上

特別寄附一覽表

大正十四年度豫算の總收入の中 收入の當てなき金額六千八百二十圓の中 五千圓は本部理事が負擔し、殘千八百二十圓は別記大會記錄の通り、會場にて募金し、僅かの間に千八百四十圓拾五錢を得、豫定以上に達しました。大にその獻金されし、支部名と個人の御芳名を記し、其理解ある御厚情を深く感謝致します。

大久保支部	二五	四千駄ヶ谷支部	一〇
四日市支部	二〇	高知支部	二〇
德島支部	二〇	岡山支部	三六
松代支部	一五	甲府支部	三〇
前橋支部	一五	靜岡支部	三〇
福井支部	五〇	新潟支部	二〇
盛岡支部	一五	姫路青年部	一〇
金澤青年部	一〇	普連土女學校	一〇
神戸女學院	一五	同志社青年部	一五
名古屋支部	三五	平塚支部	一〇
坂出支部	三〇	近江八幡支部	三〇
神戸支部	五〇	富山支部	一五
鳥取支部	二〇	央　支部	三〇
金澤支部	七〇	堺　支部	三〇
九州部會	一八〇	濱松支部	二〇
臺北支部	三〇	大阪支部	四〇〇
津　支部	一五	北海道部會	一〇〇
高木鐸子姉（横濱）	一〇	炭谷三好姉（富岡）	五
東ます子姉（京都）	一〇	清水種子姉（大阪）	二〇
林歌子姉（大阪）	一〇	井深花子姉（東京）	一〇
杉田いそ子姉（大阪）	五	遠藤とく子姉（大阪）	一〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和田邦子姉（福岡）五
小泉積子姉（上州）五
廣瀬輜子姉（名古屋）五
菊地姉（大阪）一〇
釘宮すが子姉（大阪）五
濱谷やす子姉（大阪）五
千田よしゑ姉 五
野澤治子姉（東京）五
原とも子姉（岡山）五
坂倉浪江姉（富山）五
兵村敏子姉（甲府）五
二宮わき子姉（大阪）五
十時菊子姉（染）五
山内輝子姉（東京）一〇
北澤たま子姉（東京）三
劉姉（滿洲）二〇
小崎千代子姉（東京）一〇
淺田みか子姉（東京）五
加納氏（金澤）五
三村しげ子姉（金澤）五
伊垣かう子姉（鳥取）五

宮川靜枝姉（東京）五
江指氏 一〇
金澤教會婦人會 一〇
川邊柳子姉（大阪）五
岡かめ子姉（徳島）一〇
ウイン夫人（金澤）二〇
岩瀬ゆき子姉（坂出）一〇
坂本つる子姉（岡山）五
堂本松枝姉 一五
川江みわ江姉（靜岡）一〇
渡邊しげ子姉（甲府）五
佐々木氏子姉（大阪）五
澤田しづ子姉（淡路）一〇
マイルス姉 五
帽子集金 二一、五
無名氏 五
松宮しん子姉（東京）一〇
渡瀬かめ子姉（東京）五
ケナード夫人（東京）二五
松田しづ子姉 五
〆一八四〇圓一五

大正十三年度收支決算及大正十四年度豫算一覽表

會　頭　小崎千代

婦人新報主任　宮川靜枝

（婦　人　新　報）

（月次表はこゝに省略す）

	大正十三年度收支決算	大正十四年度豫算
收入ノ部		
購讀料	五七七五、一二	六三〇〇、〇〇
廣告料	三〇一、五〇	七〇〇、〇〇
特別收入	五二〇、〇〇	―
雜收入	四、一六	―
合計	六六〇〇、七八	合計 七〇〇〇、〇〇
支出ノ部		
印刷	四〇三四、三五	四二〇〇、〇〇
謝禮	四九七、七〇	五〇〇、〇〇
俸給手當	一二九〇、〇〇	一五〇〇、〇〇
發送	二九二、三〇	三二〇、〇〇
通信	一〇一、八七	一二〇、〇〇
備品	九七、六七	一二〇、〇〇
消耗	二三、九〇	七〇、〇〇
旅費行通	七五、三七	八〇、〇〇
交際	六、八〇	二〇、〇〇
圖書	五、一〇	三〇、〇〇
雜費	一六、九六	二〇、〇〇
臨時費		二〇、〇〇
合計	六四四二、〇二	合計 七〇〇〇、〇〇
前年度不足額	五〇、四五	
支出總額	六四九二、四七	
殘額	一〇八、三一	

▽青年部報告

部長　ガントレット恒子

青年部は十三年十月から今日まで、實務者がありませんでしたので、敏活な働は出來ませんでした。けれども各支部は、時の少い、資力に乏しい學生を以て組織されて居るにもかゝはらず、能く最善を盡して働きました、本當に青年部は大人の部と少年部の中間に在つて、困難な、目立たない、けれども重要な部であります事を、各支部が自覺して働いて居ります。

金澤では、今までの金澤青年部と稱つたものと、北陸女學校青年部とは合併した姿になりました。

日の本女學校青年部ではバザーを開いて資金を作つて、青年部の本部へ送つて下さつたり、神戸女學院、同志社、フレンド、青年部など、相變らず、活動して居られます。

丸龜や、カートメル女塾、共愛神學校などの青年部など、小數の會員で困難少なからざる中を努力してやつて居られます事は感謝です。

十四年は、新らたに陣容を整へて、青年部の支部新設、會員募集は、固より内容の充實に努めたく希つて居ります。

十三年度現在の青年部の數は十四部で、會員總數は、約七百名であります。

會計報告

一總收入　金百參拾壹圓六拾參錢也
　內譯　金百〇壹圓六拾參錢　義務金
　　　　金參拾圓　特別寄附金
總支出　金六拾八圓參拾六錢也
　內譯　金拾四圓　萬國本部への義務金
　　　　金拾圓六拾九錢　郵稅
　　　　金貳拾圓九拾六錢　旅費及交通費
　　　　金拾圓　振替口座拂込
差引殘金　六拾參圓貳拾六錢也

以上

▽少年禁酒軍報告

軍長　守屋東

『なくまでまたうほととぎす』と唱ふた武士の胸中も人事ならず思はれた、少年禁酒軍は人の和と時の利とを得て過去一ヶ年は實に愉快なる働をつゞけました、初めて我仕事に着手した感じが今凡て軍に働くものゝ頭に滿たされて居ります。

將もなく卒もなく皆各々將たり卒たる四名のものは心からの感謝をさゝげて居ります。

顧みれば過去十有八年、無從の如くすごし來りし我少年禁酒軍も、明あり、識ある、久布白、林、伊藤、相川の四氏が、フイラデルフイヤの大會に出席されたるを機會として初めて、軍の必要も、禁酒運動の必要も一般に認識さるゝに至りました、まちかねたうぐひすは遂になき出でゝ人々をよろこばせました。

大正十三年度に於ては、全國小學校貳萬五千に對して禁酒教育の火蓋は切られました、全國の警務官、教育者、禁酒主義者に對する禁酒教育運動は第二回を開催して全國より三百有餘名の熱心なる人々が東京に集り三日間に亘つて禁酒教育の講習會は開かれました。

大正十一年に少年禁酒軍が未だ霜白き國に種子蒔をなせし趣あつた第一回の禁酒講習會のおもはぬ惠として生れ出た日本學生排酒同盟は着々成長して、すでに我國の大學專門學校二十有五校から加盟を得て澤柳博士を會長に頂き少年禁酒軍長も顧問の一人となつて其働きに參加して居ります。大正十一年四月一日に制定實施された禁酒の法律は、かゝる團體の活動を待ち望んで居ります、此時にあつて本年度の禁酒軍の運動は、大なる期待と効力

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とを與へたものでした。
此全小學校相手の運動は一年間のものでなく、十年間連續の運動としてその方針も決定されました。

一、六ヶ年間連續して教材提供　根本教育
　——教科書に禁酒學課挿入
一、禁酒教育講習會　法律の徹底運動——
　警察官、教育者、社會運動家
一、四ヶ年間人物養成　二十一人各方面の專門

年々歳々一人五十錢を此運動に出す人貳萬五千人を得れば、我國に於て向ふ十年間に實に民族の保健、社會の秩序の整然と保持さるる第二國民を送り出す事が出來るのであります、我日本國民として一年五十錢の金を此尊い事業に出すもの﹅數二萬五千に達せしむる事は決してむつかしき事ではありません。
全國各支部が各々其屬する縣と郡を負擔されたとしたならば容易に出來る仕事であると思ひます。
此運動は先づ我足下をつちかはんといふ意氣を全會員に持つて頂きたいのであります。
全國の學校數は縣別郡別として調査し別に表として掲げた通りであります。
一年間の運動については今玆にこと／＼くしく述べません。

よく勤勞者は骨折つて働きました、而て遂みました、感謝して其二萬五千に達する歡送を終へたときの心持、諸姉も御想像して下さる事が出來るでありませう。

本年度の重なる仕事
　印刷物　少年新報
　　國民禁酒の研究
　　禁酒小冊子十四種
　　タバコの話
　　ポスター
　　エハガキ　三種類
之れ等は皆實品でありますが、この種のものが多く賣れる丈我等の運動はあがるのであります、諸姉の御盡力を乞ふ。
旅行　臺灣　土浦
活動　全國小學校へ禁酒禁煙の教材送附
　禁酒講習會(第二回)
　四月一日記念日の活動
講演　八十一回
新軍設立　四ヶ所

凡て人々の熱き祈によつてのみ此仕事がここまで進み來つたといふ事を深く感ずるものであります、今後も一層諸姉のお祈を乞ふてやみません。
昨年十二月より本年三月迄は全く集中運動として全職員悉く夜まで働きつゞけました。一人は遂に病みました。他は健かです。私も諸姉の同情と働きの喜びとによつて日一日一日と健康をまし加へてゆきます。猶九年間の連續事業があります。神の御加護を得て同勞者の人々と共に進みゆきたいと思ひます。
書かんとして筆すゝます、一事を述べて感謝の報告に更へます。
諸姉の御健康と主義の爲の御奮闘を祈つてやみません。

少年部會計

總收入　七千六百五拾壹圓八拾九錢也
總支出　壹萬壹千四百八拾壹圓四拾四錢也
不足額　參千八百貳拾九圓五拾五錢也
此不足額は好意ある人より借用
五十錢運動の集金によつて返済するもの也

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部の報告

風俗部

部長　久布白落實

▽支部名	風俗部長氏名	集金高（圓）	支出高（圓）
大津		七一、〇〇	七一、〇〇
堺	大枝かね子		
四日市	永田行子	一〇、〇〇	一〇、〇〇
前橋		一四、〇〇	一四、〇〇
倉敷		一三三、三〇	一三三、三〇
福井	内田芙貴子		五、九二
小樽	岡田保茂子		一六、八五
鹿兒島	後藤ちづ子		
大連	柳原よし子	二六、一〇	
大阪	名出昱子	一五五、七九	一五五、七九
神戸青年部	森ふさ子	三三、〇〇	—
神田	落合てる子		
金澤	加納務子	一九、三五	
宇都宮	本澤たき子	一〇、〇〇	
福岡	溝口敏子	五五、〇〇	
臺南	庄司梅乃		
平壌	榊原美智子		
徳山	米倉みち子	三一、〇〇	三一、〇〇
安中	湯浅とみ	一四、〇〇	
富山	ミストネデー		
鎮南浦	山田しほ	二九、五一	二九、五一
福山	水谷竹子	〇、七〇	〇、七〇
仁川	芝もと子		二四、七〇
呉	則末なほ子	六〇、〇〇	六〇、〇〇
松山	新川繁野	五、〇〇	⋮
平塚	波多野あき子	一二九、〇〇	一二九、〇〇

フレンド青年部　五錢袋を集めたる事　講演をきゝしこと。

徳山支部　講演會　縣會開催中

松代支部　長野縣にて公娼廢止運動なす、即ち知事宛に請願書提出、一方にて議員を訪問せしも遂に議會の問題とならざるを遺憾とす。

一富岡支部　五錢袋七十を集む。

一福岡支部　教化運動に關連したる廢娼講演會をなす、福岡警察より依頼をうけ、十九才と十五才の姉妹を救濟せり。

九州に婦女収容所の必要を感じ是非福岡市に設置希望。

一宇都宮支部　五錢袋を集め昨年十二月　田川大吉郎氏、宮川静枝氏の講演會を開催。

一金澤支部　五錢袋を集め、城のぶ子氏の講話をきく。

一神戸女學院　希望、本年より設け度し。

一大阪支部　會員に袋を送り、又支部長講演の度毎に會場にて集む、十二月一日に廢娼デーをなす、公娼廢止の請願につき堂島ビルディング前に本陣を置き、通行人より署名を受け其數二千二百人に達せり。

一大連支部　五錢袋、廿六圓二十錢を集む。

一鹿兒島支部　廢娼講演會を開催。

一平塚支部　講演會三回　花見時にポスターをはり宣傳ビラをまく、取締りを警察に願ふこと、新設さるゝ藝者町に反對の爲め請願をなし縣廳に出頭せし事。

一加古川支部　講演會を數回開催、直接運動として郡長學校長に親しく面談す。

一四日市支部　五錢袋を集む、講演會二回。

一倉敷支部　遊女一名を救ひ神戸婦人同情會に送りたり。

一前橋支部　五錢袋廿四圓廿錢を集めたり。

一福山支部　少女嬰兒殺人罪にて三年の求刑を受けしものを執行猶豫の恩典に浴せしめん爲に働きたり。

一仁川支部　城のぶ子氏を招き講演會開催。

一小樽支部　五錢袋一千枚取扱ひ、久布白幹事巡回に際し公會堂にて公娼廢止の講演會開催。

一松山支部　講演會二回開催す。

一呉支部　一少女を救濟す。

財務部

部長　小泉たね

大正十四年四月第卅四回大會に各支部財務部報告の手にせしもの五十七。募金また事業をなせし支部四十八。此收得金總計壹萬九千三百二十六圓六十八錢、支出總額壹萬貳百九拾九圓貳拾錢にして財務部の事業報告ありて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十七支部はバザー、音樂會、講習會、ポスター賣、活動寫眞等が主なるものでありました。

募金また賣上額の最も多きは大阪支部の五千百八拾八圓貳拾參錢、高知支部の貳千百六拾六圓參拾壹錢、福岡支部千百貳拾四圓九拾五錢など此外まだ御報告のないのもありませうが、先づこれ等は殆んど全國支部總額の半ばを占めてゐます。やはりそれ丈御活動の盛んな事を思はせられます。

大正十三年度は一支部平均收得參百貳拾參圓に對し十四年度は四百貳圓となつて居りますのは、一般に活動對財務の念を認められます。

本部財務部としては殆ど理事總がゝりで後援されまた苦心して居ります。

大會中谷支部財務の爲に特別御相談の結果全國を通じてやゝ財務の光明と見るべきものは大阪支部御提出の誕生獻金これは矢島先生の御揮毫な立派なる石版刷にして之を私共の知己或は知名の方に送りて御誕生を祝し、同時に私共の會を祝して頂く計畫であります。追て大阪支部より委しく御發表になります。

其他福岡支部御發案の朝鮮問題は多少年月を要します、本部財務部としては全國一般の要求に應じ、教育的藝術的活動寫眞の映畫を提供すべく已に外國宣教師また映畫界に熟練の先覺者を以て任ずる辯士石坂雷洋氏に約し家庭劇孤兒物語、世界の大偉人アブラハムリンコルン、小さき天使、聖劇キリスト一代記、十字架物語、人間になるまで、全部三十卷以上外に喜劇等各地の御希望に應じらるゝ樣已に其梗概は謄寫して各支部長御手許へ發送いたしました。どうか御利用下さい。

チエーンストーア（連鎖店）の計畫

最後に永久財務の基礎として私共の身心をそゝぎつゝあるはチエーンストーアであります。

本部を中心として各地生産品を本支部の手を經て需要者に提供する事であります、卽ち假りに福井の羽二重は名古屋の需要者に靜岡の茶は大阪にと各地相連鎖して需要供給する現在の組合法にて信用利用購買販賣組合の中に加へらるゝものと存じます、分や專心其基礎を具體的に作つて居ります。何れしかと各支部の御賛同を得ねばなりませぬ、此成立は將來本支部の財源となり、かつ各地個人個人は我矯風會の手によつて經濟的に便利を得る事と信じます。只淺薄なる知識はあせれども足らず、專門家で經驗ある方々の御援助を求めつゝなほ皆樣御心附の點は御指示あらむ事を希ひます。

以上は大會と大會後に於ける財務部の現況であります。

各支部の上に御祝福を祈りつゝ。

社會部報告

部長　守屋　東

社會部として本年は特に震災後一層物質の困難せる時、東京を初め各地の支部に屬する諸數の御活動は容易なものではなかつたと思ひます。

大阪支部が其公園を所有せらるゝまでに至る間の苦心及今後の努力、容易ではありません、然し其働によつて如何に我會の主義が社會に知らるゝかと思へばこれまた苦しき中の感謝です。

東京部會の附屬事業婦人ホームは本部經常費以上の旅費を要するもの、なかなか容易な骨折ではありません。

神戸支部の家庭部長渡邊姉の永年の苦心、ぜひとも一日も早く會館の建築さるゝやう祈る處であります。

高知支部の學生ホーム、無料診療所皆各々働きてよき實を結びつゝある事は皆會の爲めに大なる感謝であります。

社會部としては現在、部長の外に山内築山の兩姉直接働き、矢島寮を經營して、婦人ホームの爲に内外につくす盡大なるものがあり

ます、特に前會頭矢島先生を矢島寮にお迎へして靜かに先涯を痛ましむる事なく、全婦人會を代表して責任を以て お仕へして居ります此點は矢島寮舍監山内照子姉の大なる働きと感謝するものであります。

社會部の實務を見る山内築山の兩姉は あたかも婦人會の遊軍の如く、各處に人を要し、事業をすゝめゆく場合に かくれたる働き人となつて各處に働かれた事をこゝに報告します山内姉の參政權獲得運動の如き、平和運動に於ける築山氏の如き此兩姉が 専念働かれしところである事を諸姉に御報告します。

社會部は夏八月ホームと少年部と協力してホームの子女及職員と共に上州鹿澤にキャンプ生活を營みました、其功果は筆紙につくしがたきものがあります、十四年度に於てもまた實行する計畫になつて居ります。

全國各支部の中、此部の設けらるゝ處には必ず、功績のあがる事は確に 有給者が働くといふ一點に理由があると思ひます、御參考まで認めておきます。

社會部として本年度は特に平和運動に 盡力しました、また國際的交誼の親善にもつとめました、シヤトル生れの 四人娘の招待(六ケ月間)案内を初め支那學生の爲に 諸種の便宜を計りダレー女史の來朝に際しては 特に風俗部と提携して同姉の爲に各地に 講演旅行の便宜を計りよくつとめました。

年々正月五日は家庭部と共同して 全東洋の學生招待會を開きます。本年はまた新たに臺灣東京會の發會に際し 矢島寮を其事務所として毎月一回會合を開いて居ります。

會計報告

會計 築山らく

總收入 壹千四百四拾七圓五拾七錢也

總支出 壹千參百四拾八圓九拾八錢也

殘金額 九拾八圓五拾九錢也

平和運動を含む

此外別途會計として支出せるもの

四百六拾六圓四拾參錢也

(シヤトル娘接待費)

矢島寮の會計は別途なり

文書部報告

部長 村岡花子

いつも文書部長としては無爲に一年を送つて居る私が今年は又例年に増した無爲の一年を送つて仕舞つたやうな譯がいたして、誠に皆樣に合せる顏もないやうに存じながらこの報告を認める次第でございます。

大正十二年の震災以後、非常なる惡戰苦闘を續けて參りました私共の事でございますから、私一個人としても家庭内には少なからぬ責任と用務とを持つて居りましたため、本年度に於きましては、機關雜誌「婦人新報」への寄稿さへも誠に怠り勝ちになつて、殆この爲めには執筆はいたしませんでした。文書部長としての名に對しても誠に恥かしい次第でございました。

かゝる次第にて本年度に於きましては、文書部長の働は、僅かに私一個人としての働以外には部長としての名目に 相當するものは何一つ持たぬのでございます。

昨年九月、基督教興文協會より「少女のねがひ」と題する小さい書物を出しました。クリスマスの物語で、少女方にはふさはしいものとの自信は持つて居ります。(定價五十錢)

同じく十一月には日曜學校協會出版部より「島の娘」と題する少女向きの書物を出しました。これは高等女學校程度の方々のよみものとして使つて頂きたい 希望から書いたものでございますがもつと小さい子供さん方のための童話も入つて居ります。(定價一圓八十錢)

今年はぜひ皆樣とお會ひして、この重要にして、而も比較的度外視されて居る我が文書部のため又色々と方針を立てたい願ひでございました。然し計らずも風邪の後、耳を痛めまして、恢復がはかばかしく參りませんため

殘念ながら、又今年も大會を缺席致さればならなくなりました。

文書部の働といふ事に就いては、私は非常に大きな抱負を持つて居る者でございます。公娼廢止の問題も、禁酒の問題も、萬國平和の問題もやはり一方には健全な文學の發達といふ事に俟つ所が多いやうに思はれます。單に、公娼制度の醜惡を說き、飮酒の習慣の恐るべき事を說く丈けでなく、寧ろ淸らかな、健やかな讀物を社會に提供して、社會の趣味性の向上、淨化を計る事も確かに風敎改善の一途だと私は信じて居ります。此部の使命は此處にあるやうに自分は解釋して居ります。此處に於て、私共は婦風會の中に圖書室を設ける事の必要も又良書撰擇の相談に應ずる必要をも感ずるのでございます。否、婦風會よりして、廣く一般的の健全なる讀物の出版をさへもすべきものだと私は感じて居ります。

文書部に對して私が持つて居る抱負と、私自身の働と其の間の隔を思ふ時、實に我が身の無力無智を痛切に感じて、殘念に存じます。どうぞ各支部の皆樣方がこの意義ある部の働に存分なるお力を添へられますやう、切に祈つて居ります。

終りに皆樣方の上に天父の御祝福豐かならん事を祈りつゝ、この報告の筆を擱きます。

（大正十四年四月三日夜東京市外大森にて）

法律部

部長 城 のぶ

此の年度に於て全國聯に朝鮮各支部を訪問せし數 三十二

支部設置希望地を訪問せし數 二十五

新支部を設立せし數 四

少年禁酒軍を設けし數 一

一般婦人に政治法律の教育の爲卽ち民法私法刑法の一部を講演す。公娼廢止、婦人參政權獲得請願調印のため勸誘す。

總選擧の際我黨主義に贊同さるゝ候補者選出に應援の爲め各地に出張す。

鳥取 與 洲本 福山各支部に於ては淪落に陷り又貞操を汚されし少女を救ひ出し法律に關したる問題の解決に就て應援し徹底的救濟に盡力し婦人同情會に收容保護を加ふ。

各支部に於てまだ法律課の設けなくとも此の年度に於て少くとも此の課に關したる適當の活動なし居らるゝ事を認むるを以て其都度報告されたし。

政治教育に關しパンフレットを印刷したき希望なり

右報告す

（大正十四年四月大會に於て）

家庭部報告

部長 川崎 正子

事業

支部名

室蘭

靜岡

鎭南浦

集會 十回 支出 七圓八十錢

編物生花會開催

集會十二回 支出 九圓五十錢

下にきの製作

集會六十二回三十一錢 支出

十二圓三十一錢 フランス刺繍の研究會

高知

堺

甲府

大阪

福山

宇都宮

横濱

麹町

編物フランス刺繍生花の會

衛生講話會衣服研究會等先生につき研究せらる。

小供洋服實行懇旨手足の荒瑕防

榮養價の注意

育兒服消等の講演會二回 秋に婦人ホーム女中數入會

洋服料理等の講習會

例年六月に衛生講話會又手藝料理研究會は會員中より

洋服研究會數回 毎月一回洋食料理會

ビタミン類に付講演會

總に部長個人の事業として料理會廿六回小供服講習會廿七回

大正十四年度に於ける各支部の希望

堺

甲府

臺北

岡山

室蘭

靜岡

鎭南浦

横濱

四ケ市

富山

良人に禁酒せしむる事 衣服の改善

臺灣住宅の改良衣服も改良したし

本部よりの援助をたのみたし洋服編物の講習希望

各部につき出來るだけ致したい

本年より家庭部を設け其發展を望む

新會部員も增した事故一層努力したい

衣服改善のために盡したい希望

もつと一般に親しみたい

家庭部を設けて改良したいと思ふ

十四年度より此部を設けたい

以上

▽本年度から一層皆樣と力を合せて一家の幸福のため亦た會の發展のためおはかりして見度く思つて居ります、何卒御遠慮なく家庭部につい て御意見なり御質問なりうかゞはせて戴けませんでせうか。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部會の報告

東京部會

部會長　井澤　花子

一東京部會は九つの支部よりなる
一會員總數　四百名
一部の働き
▽學生招待會
年中行事の一として毎年一月五日東京部會家庭部の働きとして開く今年は大久保婦人ホーム内で開催、來會者は、支那、朝鮮、臺灣、フイリツピン、其他、帝大、早稻田慶應醫專等約六十名その他接待員として部會員其他全體にて約百名の會衆にて和氣に滿ちた會合であつた。
▽對議會運動
これは全國支部聯合の働きであつたが東京部會にても會員中にて知合ひの代議士を訪問又は親書、名刺、これらによつて專任の働き手を助けました。
一希望としては、
今年度に於ては、會員を千名にしたい、新支部を造る爲に努力致したいと存ます。

北陸部會

部會長　エス、オー、テイト

皆様のかくれたる御祈とお力とにより北陸部の中心にあたります金澤支部に於て大會をお引受けするとの出來ました事は感謝に堪へません。其れと共に不行届きの爲色々皆様をおわづらはせ申しましたとを遺憾に存じます
皆様と御同様大會後北陸各支部も新らしき力を頂き元氣を以て極力會の發展に努めて居ります、林先生の御努力によりまして新たに敦賀に支部を得ましたことは一同の喜びでございます。
今後は五支部の部會長として私も一層皆様と共に勵み度いと望んで居ります。

兵庫部會

部會長　渡邊　常子

明石支部　支部長　美濃部迪子
會員數　廿名　新入會員　二名
一ヶ年集金　五拾壹圓六十四錢　支出六十二圓五十錢
加古川支部　支部長　中村床子
會員數　廿名　新入會員　六名　轉出六名
一ヶ年集金　五拾圓　支出　五十圓
希望　一層の努力を望む

京都部會

部會長　東　ます子

近江八幡　支部長　吉田きよの
會員數　卅九名　新入會員　八名　退會者　八名
大津支部　支部長　矢部佐子
會員數　四五名　新入會員　四名　部會費四圓
京都支部　支部長　海老名みや子
會員數　七一名　新入會員　三名
部會費として金拾圓支出致しましたが昨年の夏は部會を引受けましたので多くの不足を生じて居ります。
昨年の夏開催しました京都部會費を御報告致します。

收入
一金壹百六拾圓貳拾錢　部會費
一金壹百六十三圓五十錢　宿泊と食費
一金拾圓　寄附
一金貳拾參圓拾錢　第二回分部會費

支出
一金四百參拾九圓七十四錢也
差引不足額　八拾貳圓九十四錢
右は京都支部より支出
岐阜　支部長　岩田とく子
會員數　十五名　新入會員　不明
名古屋　支部長無し
會員數　九十名　新入會員　五名　部會費拾圓

四日市　支部長　永田有子
會員數　四十一名　新入會員　七名　轉出　九名　部會費參圓五拾錢
宮津　支部長　小林つるえ
會員數　廿三名　新入會員　四名

東北部會

部會長　高谷とく

一部會内の支部名　弘前　秋田　盛岡　青森　土浦、仙臺、(宇都宮、水戸は未だ回答なし)
部會の會員數　九十三名(五支部のみにて)
一ケ年の新會員數　四十三名
一ケ年の新支部數　一支部(青森)
部會費として集金せし金額、部會として未だ活動せぬ故無し青森はいよいよ十四名の會員を以て支部として起つことになりました。

九州部會報告

部會長　和田邦子

支部名	會員數	支部長名
門司	廿五	鶴原綾子
小倉	四〇	片桐千代子
八幡	卅五	喜多恒子
若松	廿七	辻村波那子
久留米	三〇	渡邊正能子
福岡	八〇	荒川千代子
大牟田	三〇	河野せい子
佐世保	二〇	牧しづ子
熊本	四六	川瀬たみ子
鹿兒島	三二	村田千代野
大分	一七	中野全子
別府	三三	米村千鶴子
唐津	二〇	堅山すが子
計	十三支部四三五名	

一大會出席者　福岡支部のみ
▽部會々計
集金　壹百七拾圓五十四錢
支出　壹百七拾圓五十四錢
▽部會としての特別運動
未成年者の學ぶ校舍に、酒類を入れざる樣九州各縣知事に請願す。
藝娼妓新規登錄不許可の請願書を内閣總理大臣及び内務大臣に捧呈す。
▽部會としての希望
年一回九州各支部巡回講師派遣請求の件
但其費用は九州部會にて負擔の事
此の件九州部會開催の際の幹部の來訪とは別問題也
右報告並びに請求申上候也

上州部會

部會長　堀江最中

二月十七日　小泉たれ子姉とともに安中原市を訪問いたしまして本部の御希望につきのべました一同御熱心に考へ下さいましたことを感謝して歸りました。

三月七日　小泉姉と共に伊勢崎に參り同心協力して本會の爲めに御盡し下さる樣御願ひして歸りました翌日五錢袋二百枚御送り申上げました。

三月中旬　小泉姉と同道高崎に參りました當支部長は三原三枝子樣になり柳川町に御住ひになつて居ます、永らく本會の爲めに御盡力下さいました野中樣は御主人の御轉任の爲止むなく御別れいたさねばならぬことを嘆かはしく存じました、願くば彼の地に於ても從前通り御つくし下さる樣合せて同姉の御一家の上に天よりの御祝福を祈り上ます。

富岡支部山田しん子樣の御熱心により廿五名の會員を得られましたる由御通知に預かりお互に目出度御祝ひ申上ました。

前橋支部皆さんの御盡力により少しづゝ進みつゝあることをよろこんで居ます。

活氣ある上州生々とのびんとする各支部も力なく德うすき私の爲めに妨げられざらん事を祈つて居ます。

山陽部會

部會長　十時菊

當部會は未だ組織出來居らず、それに各支

部より本部へ完報告濟みの事とて部會長として別段の報告もありませんが承知いたし居る事のみ纏めて簡單に申さば

一、部會長として講演會に臨みし支部數　三度數　六

一、當部會の支部數　十一　會員數　五七六（十四年三月調）

一、新入會員數　一六〇（同）

一、各支部を通じての重なる働き、各種講習會、活動寫眞會等の開催、國民禁酒ポスター及び婦矯誌の販賣、禁酒宣傳、清涼飲料の調印、少女の救濟、會員倍加運動等でありました。

此外關西聯合部會に連なり、昨年八月京都嵐山に於て開かれし夏期修養會に出席し互に勵まされ大に得る處がありました。

大阪部會報告

部會長　清水　たね

支部名　現在會員數　新入會數　新報購讀　年額納義務金

大阪　一三七人　一二四人　六六〇冊　六六〇圓

會費年額十圓、五圓、三圓、二圓各種、五圓以上は應請共　一ヶ年總入九〇四五圓三一　出六二一八圓〇三

堺　二七人　一七人　一〇冊　一六、二〇

會費年額一圓八十錢　總收四二六圓七十三

總支出三七五圓〇八錢

奈良　一九人　｜　二冊　｜

郡山　三五人　一人　二冊　三、〇〇

會費年額一圓廿錢　總收三十圓二十七錢

支出　十三圓八十錢

和歌山　三〇人　｜　二冊　｜

奈良、和歌山は數度通信いたしましたがお返事がありません昨年度の部會として何の働もせず相濟みませんでした。

今年は近き内林支部長と共に一巡御訪問する筈です。

本年八月には奈良に於て關西部會を開催する事に決して居ます。昨年林支部長に個人で部會を一巡して下さいました。また選擧運動では隨分和歌山縣へ往復松山代議士のため後援され、又禁酒會の講演會にて出席せられました。

甲信部會報告

部會長　渡邊　しげ

甲信部會は誠に小さい部で僅に四つの支部と一つの青年部とそれに二つの少年禁酒軍とがあるだけでございます。信州にある三つの支部の中で一番元氣のよいのは松代支部で小さい乍らもよく活動して居らるゝ樣で本年の大會へも代員を送られましたが、木の下と長野とは會長さん方は非常に御骨折り下さる樣ですがどうも振ひません。甲府は毎月第三火曜日に例會を開き正月や花見時の禁酒運動にも禁酒會と合同して禁酒矯風の運動をなし、風俗部に關する働きを初めんとして居ります青年部及び少年禁酒軍は各主義のために活動いたして居ります、近き將來にせめては松本長野上田等の市に新支部の設立さるることを希望し居つて居る次第で御座います。

山陰部會

部會長　城　の　ぶ

支部數　五　會員數　百六十九名

新入會員　八十六名

部會に集りし金　卅圓　支出　卅圓

部會長として、此の年度内に於て部內各支部及び希望地を巡廻し講演會に臨む、何れも準備の整ひし盛會を見たり。新入會員も得たり。

鳥取支部　にては兄のため身を賣りたる一婦人を救はれ婦人同情會に託さる、青年部の設立を見る。

米子支部　堅實なる發達をしつゝあり。母のため賣られたる二少女を救ひ婦人同情會に託さる。

倉吉支部　小學校に接近せる公園に於て、櫻花滿開の時期に淫酒宴樂の惡態は、風紀上見童教育上、取締を厳にされたしと運動なす。

米山支部　從來此地方會員は本部直屬なりしも山陰部會に屬し、有力なる會員協力して地方風致のため各自責任を以て盡さんと努力さる、新に佐久間喜久子氏支部長に擧げらる。

篠山支部　小さいながら二三の有力なる會員ありて、徐に發達されつゝあり。

此の秋に於て、部內會員、其他有志の修養會を開かんと計畫中なり。

高知部會報告

書記　横川　豐野

大正十三年六月城先生の御來高下さいまし

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た時先生の御產婆役で同時に二つの支部が生れました。

一つは須崎支部で西海岸に一つは藤西支部で東の海岸であります。とう／＼前支部長田岡姉の祈でありました高知部會が出現いたしました。

六月十七日より四日間各地にて城先生の講演會

七月一日禁酒聯盟の無酒デービラ配布。九月一日震災記念日に無酒デービラ配布十月會員倍加運動十一月廿九日より九日間キリスト教聯盟教化運動講演會大正十四年二月議會請願運動調印一月三十一日より林副會頭の講演會四日間各地にて禁酒ポスター及繪はがき販賣す。

四國部會報告

部會長　岩瀨　壽子

當四國部會は德島愛媛香川の三縣に亘りて八つの支部があります。即ち德島縣には德島富岡脇町の三支部、愛媛縣には今治松山の二支部、香川縣には高松坂出丸龜の三支部があります。今之等各支部の大正十三年度中に於ける概況を一括して御報告致します。即ち

一、現在部會員

(イ)總　數　貳百六拾九名

(ロ)新會員總數　九拾四名

一、同年度收支決算

(イ)總收入金額　八百四拾七圓九拾貳錢也

(ロ)總支出金額　七百拾圓六拾八錢也

一、同年度事業

(イ)公開講演會　拾壹回

(ロ)禁酒宣傳ビラ壹萬枚、一般へ配布

(ハ)禁酒繪端書百四拾九組、各青年團へ寄贈

(ニ)國民教育繪端書貳拾九組、各學校へ寄贈

(ホ)バザー貳回

在日本外國人部會

部會長　ジエー・エス・ケナード

本外國人支部は支部と申しましても全國を通じての部である故に、支部と云ふよりは部會と云ふ方が適當かと思はれる。本部會は東京支部、關西支部から成つて居て昨年以來熱心に改造に努力しました結果會員數が三百八拾四名を數へるに至りました。

部の事業は其持場持場に發展して居ります十四年度はもつと新しい部を編入して之が運用に努め度と計畫して居ります。

文書部の働きとしては宣傳用書類の不足を痛感し、シヨウ氏と協力して、已に出版してあるものを集める事と、新に出版すべき材料を集むる事、ポスターを作成する事等に、力を入れて居ります、母の會は特に此方面に力を注ぎました結果、五月の母の日の爲に用意しつゝある小册子を加へて、出版小册子八萬の多きに上つて居ります。

懸賞文學課は、アメリカン、スクールの生徒の中に實行されんとして居ります。

安息日課に就ては、常置員は禁酒や貞潔の問題と同樣に重大な問題として取扱ふ事を主張し、之が爲め、働かんと企てゝ居ります。

働きの重なるものを擧ぐれば（一）十三年の夏から秋にかけて、慈愛館の爲に金五百六拾五圓を募集した事（二）關西支部を作り、神戸大阪、京都を一つにしてまとめた事（三）東京支部が興望館に力を集中し、好成績を擧げて居ります、クリスマスには、同館に於て祝會を催し、贈物を小兒等に與へた事、（四）外人部會として、興望館事業の上に大正十三年三月の計算では金二萬九千五百七拾四圓の負債がありましたのを、皆返濟し得た上に、復興資として、金三萬六千圓を保管し得るに至つた事（但し此金額は內務省より下附せられたる五萬圓を基礎としたもので此金を基礎として熱心に募金し、新築をする爲努力しつゝあり）（五）講演會を開いて、ウオード夫人、慶應大學教授ワイルド氏等に御話を願つた事等であります。

尙ワイルド氏は、熱心に此事業の必要を說き、此の種の事業は不斷の努力を要するものであるから、一つのポイントを得たからとて、決して安心して靜止する樣な事があつてはならぬと、米國の例を引いて說かれ一同大に益せられました。

七月廿九日三十日の兩日本部會大會を、輕井澤で開く事になつて居りますから、本部役員は固より各支部よりの多數の方の御出席を祈ります。

私共外國人部會の希望は、日本の姉妹と凡てに於て一致協力して神國の建設に努めん事で御座います。以上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

エス・エム

婦選獲得同盟

大正十三年十二月十三日、保險協會で發會式を擧げてから恰度四ヶ月間、對議會の婦選獲得運動、一般の宣傳運動、財務運動と働き續けて來た婦人參政權獲得期成同盟會は、一まづ議會閉會と共に今迄集注してゐた對議會直接運動を打ち切り、茲に組織の一部を變更して、政治教育、宣傳等、輿論の啓育に向つて方針を進めることになり、去る四月十九日、帝大佛教青年會館にその第一回の大會を開催しました。その際名稱を婦選獲得同盟と改め理事及び中央委員は左の通り決定。

總務理事久布白落實、會務理事市川房枝、會計理事中澤美代子、中央委員は、河崎夏子、金子茂、來栖安子、宮川靜枝中西司那、潮留延子、坂本眞琴、末弘杉枝、田中芳子、吉永文子、山内輝子、宿利梅子、以上の外に三名の前述理事を加ふ。

仕事の方は、對議會運動委員會、政治教育委員會、調査委員會、出版委員會、財務委員會、會員委員會を設けて各自分擔することになりました。

尚五月廿七日から毎週水曜日の夜、同會事務所で研究會を開き、前代議士田川大吉郎氏（普選について）代議士林田龜太郎氏（議員法、公民權について）の連續講演があります。

太平洋會議

米國基督教青年會が主催で七月一日から十五日迄ハワイのホノルヽで太平洋會議が開かれます。太平洋に沿ふ國々から諸方面の專門家格の人々が出席して、こだはりのない氣持ちで研究協議をするとのことです。調査項目の中には、移民問題天然資源、宗教、文藝、道徳、教育、國際友誼、通商、經濟等、可なり廣汎に亘つてゐます。日本でも基督教青年會の方で種々盡力されてゐます。識見あり公平なる人士の出席されることが望まれます。

平和の爲に

五月中旬、米國青年平和協會（米國フエローシップ、ユース、フヲア、ピース）から日本の國際聯盟協會に宛て、國際善意デーに際して米國青年は、日本青年諸氏に祝意を寄す。吾人は米國の日本人排斥と太平洋海軍演習を遺憾とす。吾人は全世界の平和と友愛のために諸氏と共に努めんとするものなり。といふ電報が來ました。平和招來の努力、それは世界を通じて勃興して來た平和運動の種々な現れに見ることが出來ます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海　外

國際婦人會議

國際婦人會議の五年目毎の國際大會が、五月四日から十四日迄、米國ワシントンで開かれました。世界の三千六百萬人を代表する人人が各國から集つたのです。此國際婦人會（インタナショナル・カウンスイル・オブ・ウイメン）は、千八百八十八年にスザン・ビー・アンソニー其他の先覺婦人等によつて出來たのでした。各國に於て、種々な小さな婦人團體を一致團結するのです、ですから會員は直接會員でなく、それ等の小さな團體に屬する會員がその會員たるわけになります。

では、その會議は一體何か、何の爲に協力するのでせうか。米國の同會々長のムーア女史に從へば、その目標は、一般の幸福の爲めに働く凡ての婦人團體間の互の理解と同情を増し、その和合を圖るのです。大戰に前後して各國民間に胚胎した色々の面白からぬ精神的のわだかまりを超えて國際的に婦人の團體が協調和解の態度に出ることの出來るのは何よいです。この婦人會議なるものは個々によつてその勢力は異ひます。米國では現在四十團體の會員から成つてゐて各團體はそれぞれ有益な働きをしてゐます。歐洲では婦人の利益擁護の爲に大に盡してゐるとのこと。中部アメリカ及び南米には未だ無いやうです。

米國では、特に、國際間の青少年の友愛と理解を計り、國際裁判所に米國が參加すること、禁酒法の勵行等に努めてゐるさうです。

何しろ、クリスティアナ、ローマ、ロンドン、ベルリン、トロントの大會後、米國で開かれたのは今度が初めてであり、殊に代員の中には戰後窮迫のために滯在費の揃へない人々もあるので、そのために特に募金迄して、主人側となつて各國の御客樣を迎へたのですが、萬國會頭レディー・アボーディーンを始め、英佛獨墺和カナダ、ノルウエー、デンマーク等から役員が出席して協議したのであります。

スザン・ビー・アンソニーの机

婦人參政界の先覺者達は、誰一人として、ちやんと整頓した事務室を持つたり、本部になさまりかへつたりしてゐた譯ではありません。彼等の働きは全く野戰でした。諸所に旅行して、行く所必らず講演をしたのです。彼等の大部分は又、家庭の人であつて、その家政の許す程の時間は之を喜んで捧げつくしたいでした。

スザン・ビー・アンソニー女史も、ニユーヨータ州のロチエスターに居た頃は その自分のホームで事務萬端を處理したのです。又、國會開催の季節にはワシントンのある古いホテルの一室に畫策を練つたのでした。

女史は、ずつと後年に至る迄机といふものを持つてゐませんでした。近頃は文明が開けて、ちよつと氣のきいた事務所ならば何處にでもあるやうな、タイプライターや書類とぢ込み器や仕切棚のやうなものは、女史にとつては全く未知のものでした。インクにペンに吸取紙に椅子と、簡單な机位があつたのと返事を待つ山なす手紙と、ストーヴの棚には書類や印刷物が澤山置かれてゐるといふたやうな場面を想像しても、なつかしいアンソニーおばさんです。

ずつと後になつて、女史の親しい同勞者で娘時代から女史の書記をしてゐたラケル・フオスター・アヴエリーが女史に机を贈つたのが千八百八十八年といふのです。

その机はそれから婦人參政運動の先頭に立つた人々によつて用ひられ、今では米國の婦人有權者聯盟で保管して、スザン・ビー・アンソニーの机として記念品の一つにされるやうになつたさうです。

（エ ス・エ ム）

米國婦人と平和運動

宮川靜枝

序

ある人々は十九世紀を革命の世紀であると言ふ、又ある人人は十九世紀を婦人の世紀であると言ふ、それ程十九世紀は女性史上に輝いてゐます。厚い厚い壁のむかうの生活から社會的に婦人の生活が傾いたことはその中頃から世界を通じて著しいやうです。さうしてそれが廿世紀に入つてから愈々光彩を放つやうになつたと見られます。私はその一々をこゝに認めようとは思ひません、只、單に米國婦人達の働き、それも最近の平和のための働き丈けに就て書いて見ようと思ひます。

彼の華府會議が開かれた際、大統領ハーディング氏の力強いうしろだてとなつたものは、最早その時參政權を持つてゐた米國の婦人達でした、又、大戰の後ウヰルソン大統領の提唱に由つて出來た國際聯盟に是非米國も參加するやうに、それから又、國際裁判所にも米國が加入して、世界の平和を支持するやうにしなければならないと一生懸命になつたのも多數の心ある婦人達であります、今、その婦人達の平和運動の一つとして去る一月十八日から廿四日迄米國の首府ワシントンで開かれた婦人平和會議の事を少し記して見ようと思ひます。

婦人平和會議

參加した團體は主なる九團體で、婦人クラブ聯盟、米國女子靑年會全國婦人有權者同盟、米國婦人矯風會、全國婦人產業組合その他であつて、約四百名の代表者が米國の各地から參集して、一週間の眞面目な協議研究會を開いたのでありま

す、最初の三日間は戰爭の起る原因に就て、あとの三日間は戰爭の防止方法に就て、而して最後の一日は全體の締めく〻りといふことになつてゐます。

大會の開かれた動機

そも〱、この重大な會議が如何して開かれるようになつたかと言へば、ウヰスコンシンのフーパー夫人が最初暗示を與へたのでした。同夫人の説によれば心ある婦人達は世界政局の危機に立つてゐることを見てどうしても平和捉進の爲に盡さなければならないと考へてゐる、又、婦人團體はどの會もその綱領の中に世界平和の支持といふことを揭げてゐる、それならばこれらの團體が平和の招來と言ふ唯一つの大きな目的のために協力して盡したならば、非常に大きな力となり輿論となつて、必ず有效な働きをすることが出來るといふのでありました。そこで、フーパー夫人は、恰度昨年の春、婦人の諸團體の代表者を招いて第一回の會合を致しました、その會合で種々の計畫を樹て、キヤツト夫人が其時委員長に推されたのでした。其後幾度か準備委員會とでも云ふやうな極く靜かな會合が有つて、終に一月十八日からの大會召集し進めて來たのでした。此會では、極く自由に意見を交へて研究するといふのが趣意であつたので、皆心置きない意見の交換があり、又諸方面の專門家達の有益な演說もありました。

大會の目的

大會では敎育といふことが主眼とされてゐました、即ち、何故に戰爭が有るか、平和を此世界に持ち來たすにはどのやうな方法を取ればよいかといふやうなことを四百の代表者に敎へるといふことが第一で、第二に、四百人の代表者を通して五百萬人の全團體の會員に大會での收穫を分つこと第三は既に國内に有る無數の平和に關する計畫以外に協力して爲し得る活動方法が見出されるであらうといふ希望でありました

戰爭の原因

大會中には種々な委員會が設けられて續出する人々の意見を總括したものを各委員長から報告しました、その戰爭の原因となるものとして擧げられたものを大體區別してみれば心

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理的のもの、政治經濟に關するもの社會的のものその他となります、心理的なものとしては恐怖心、疑惑、貪慾、野心、復讐、憎惡、嫉妬等を擧げ、經濟的な原因としては、侵掠的帝國主義、經濟上の競爭、周圍の安寧といふやうな事におかまひなしで政府が海外に於ける個人の利益を保護すること、人口の增加、戰爭に於ける利益、小民族の權利の無視等を數へ政治的には、力の均衡を保つといふ思想、祕密若しくば不正條約と條約違犯、弱小國の權利の無視、黨派的政治、戰爭の政治的是認、國家の戰時編制、無益或はむしろ有害の政治的機關等を列擧し、社會的その他の原因としては、誇張された帝國主義、軍備の競爭、宗教的及び人種的偏見、一般の冷淡無智と無頓着、それから、活動寫眞、敎科書、家庭の影響、新聞雜誌其他の刊行物によつて醸し出さるゝ鬪爭的心理、社會の不平等、戰爭の社會的是認、精神的理想の缺乏等を指摘してゐます。

戰爭廢止の方法

斯様に戰爭の原因となるものが種々な方面に亙つて複雜であるからには、その防止方法も亦細微に亙らなければならないことになりますが、大體三つ四つの方法が最も重要なものとして論議されたのでした、其中で、大會が直に實行しなければならないとしたものは國際裁判所の件でした。

上院では、恰度大會會場から一哩程離れて開議中でありました、——國際裁判所の事など眼中に無いかの様子で。そこで大會は國際裁判所に米國が參加する事に贊成の大多數の會員に代つて、仲裁裁判所に米國參加の件を早速議せられたしとの決議文を上院の外交委員會にもたらしました、それから大統領に提出されて研究問題となつたわけでした。

其他の研究事項は、國際法典の編纂、國際聯盟、ゼネバの平和議定書、社會的又は經濟上の政府の國際代理機關、國際敎育、世界平和の爲の機關としての宣敎師、歷史の公平なる敎授、國際主義の要素としての藥、出版物及び外交の影響等でした。

大會を通じて種々の論議が交されましたが、現今では、政治、經濟、社會、何れの方面にあつても、利害關係は世界全體に亙つて非常に密接であるといふことが凡ての人々の頭に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今更の如く強く響いたのでありました。例へば健康問題に就て見ましても、それは一地方一國家の問題でなくて世界共通の問題であります、先年流行した獰猛なインフルエンザも、最初ドイツの捕虜收容所から發生して全世界に傳播したのであつて、大戰と同じやうに世界的害毒を流したものであります、又、黑死病にしても、アラビアの砂漠から南方チベットや支那に、さうして世界到る所の港へと傳播したのであつて腦脊髓膜炎にしても同樣です。而もこれ等の病氣は何處の國であつても同樣、血精注射が治療法であるとすれば、醫界に於けると同樣、社會的の事件に一定の標準をあてはめてゆける道理になります、それが大會の意向であり、又國際聯盟が戰爭防止のために採用しつゝあるところの方法であります。

國際聯盟

世界平和擁護の方法の一つとして米國が國際聯盟に加入するやうにすることの一項を加へられたいとの動機も出ましたが、それは數箇の團體の會員は各々其問題に對して意見を異にしてゐることでもあり、未だ考へがまち〳〵でもあることゝ故反對だとの意見が婦人クラブ聯盟の前總務ウキンター夫人や、全國産業組合聯盟のスミス女史等から出て、結局左の如き決議が出來ました。それは原案よりは少し強く、又ある人から言はせれば可なり手ぬるいものであるかも分りませんけれど、

大會は、國際聯盟が、米國合衆國に於て優勢なるそれ等の理想に對して多大の貢献をなしたることを認め、且つ是が其等理想の實現の爲の唯一の國際機關なる事を認むるが故に、我が政府がこれに加入すると否とに係らず、我等は、聯盟の計畫と協調して我等の責任を一層大ならしめ、且つ其活動に於て協力せんこと期す。

ゼネバの平和議定書は戰爭を不法行爲と認むることに關して提起されたる曾て無き最も進歩したるものなるが故に、米國が此議定書の效果あるやう、協調和偕の態度に出づべきことを信ず。

戰爭の法的否認

平和擁護の手段として戰爭を不法行爲と認むるといふ事に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

就ては隨分意見が出ました。一方には、戰爭を犯罪と認めよといふボーラー氏の提案に賛成して、その意味で戰爭を不法行爲と認め、現在あるところの仲裁裁判所、國際聯盟、平和議定書とは別に國際間に通用する法典を得る事に努力したいといふ人々があり、此等の人々にとつては、戰爭を文明の圏外に置くこと同時に決闘や人身賣買を道德的制裁に依らしむることが根本的重大の事であるとされたのでした、又一方には、戰爭を法律上否認するといふことは戰爭を不法行爲と認むるといふ協約を遂行する機關が有つて初めて實行されるのであるとする意見が出ました、然し兎に角、兩者共に必要なことであるといふことになり、結局、戰爭廢止に關する種々な意見を總括した決議文は左の如きものであります。

我等は戰爭を不法行爲とするために盡さんことを期す、但し我等はそのためには(一)適當なる代理を通して戰爭は罪惡である、而して攻勢的態度に出でたる國民は罪人とさるるといふ國際法の設定さるること(二)國際機關を設けてこれによつて國際法を各國民間に有效ならしむること、これ等二つの段階を必要とすることを認む、而して、恒に有效なる常設國際機關の必要を認むること言ふ迄もなし。

さうしてこゝに云ふ國際法といふのは暴力に訴へずに法律によつて世界の紛爭を處理して行くに必要な國際法典中の一つであります。大會では又、その計畫の中に國際法典の進歩的編纂、國際正義に背くところの條約の修正、軍備縮少の運動に協力する事等を認めたのでした。

けれ共更に、現在の世界の情勢を眺めて重大な事は、内務省内に、國際間の友誼と平和を進捗するところの平和局を復興することであると認められたのであります。

經濟的及び社會的方法

經濟的方面では、天然の資源及び原料の増加、分配に必要な水路の發達、經濟搾取制限の規約等を擧げ、その實行方法として、世界の資源に關する國際會議を開くこと、國際勞働組織の如きものを設けて經濟上の統制を圖ること等を擧げてゐます。

又、社會上乃至敎育上の諸問題に關する論議は實に盛んなものであつたらしく、敎育界に於て、敎授や校友の交換、諸

民族間の理解と友誼の開拓、他國留學生に對する親切、それから又、殊に活動寫眞の使命や教科書の選擇等も重要な問題として擧げられました、こゝに興味ある事は、ウエールズ大學のタフト教授が、次の戰爭は將に教科書の中に準備されつつあるのだと言明したことです、同氏は、フランスとドイツの子供達が勉強してゐる歷史の教科書から一節を引證してゐます。フランスでは「ドイツは多くの敵に圍まれてゐるのであるといふドイツの主張は僞りである。憎むべきドイツの暴力の危險に備へるためにこそ歐洲の軍備は必要であつたのである」と子供達が教はる。さうすると、國境の向ふ側では、ドイツの子供達が「ドイツ帝國は敵に包圍されたるが故にドイツの軍隊は單に防備のためであつた」と教へられるのですそこで、タフト教授は、子供等には歷史を最も公平に教ふることの平和招來のために必要であることを力說してゐます。

大會の結果

大會中に大統領の白亞館で、代員の招待會がありまして其席上で、國際裁判所の件に關する決議文をクーリッヂ大統領に提出致しました。氏は演說の中で、戰爭廢止の手始めとして仲裁裁判所支持の必要を述べて大に戰爭防止の方法を講ずべきことを說かれました。

大會の結果、九團體の會長及び委員會長とが委員となつて繼續委員會が組織され、五百萬の婦人が一致協力して、愈々平和招來の大目的を以て精進することになりました。未だ曾てなき婦人の有意義なる大會であつたと申さねばなりません「全米國の婦人團體は各々其の主義綱領の差異を超越し、唯平和招來の一事に向つて一致團結することは出來ないのでありませうか、若しも平和招來の如き共通の目的のために團結する事が出來ないとすれば、私共女性は、全世界の民族間に理解と信頼の念の未だ遙かに薄きことを訝ることを止めなければなりませぬ」と言つたキャット女史の力強い言葉、さうして、その言葉に應じて會合した四百の代表者達の眞面目さと信仰とを思ふて米國婦人の平和運動がひたすら勝利の榮光に向つて進むことを衷心希つてやみませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

このごろ

守屋東

大會の力

四月に開かれた婦風會の大會には、留守師團の番人となつて東京に殘つた爲に、金澤百萬石の御城下で開かれた意義ある大會に出席する事は出來なかつた、が、其盛大であつた事有意義な決議がなされた事、且出席された代員諸姉が、實に選良であつた事は、各方面からの御報告によつて承知する事が出來、感謝にたへなかつた。

年々歲々開かれてゆく大會によつて、我國の婦人會は、どの位大きな訓練と、結束とが數へられ、與へられてゆく事かしれない、特に主を信じ、キリストに從はんとする我等キリスト敎徒の婦人團體としては、此婦風會の大會の精神及形式をとつて進まれるやうになつたものも少なくないと聞くとき實に先輩が、これまでになされた苦心を感謝せずにはおかれない、婦風會の大會が、只一時の集合團體でなく、其時限りの賑やかしさでなく、一年間、働き、祈り、念じてやつた仕事の報告と、來るべき年の希望と計畫とを議し、また談ずる生命あるものであるやうにとする處に、目的があり、使命がある、若し只、月々開く、各支部の少數會員から成立する、支部會丈であつたのでは、力が薄い、結束が弱い、然し、全國各地から代員が出て、熱心な祈と、働との聲をきくときたとひ自分は小さく弱くとも、そこには冒す事の出來ない統一された集合の力に生きてゆく。

大會の力はそこにあると思ふ、盛岡支部の佐藤姉が、金澤の大會の歸り、東京に立ち寄られた、そして數年見なかつた大會の成長に只々驚かれて居た、そして、盛岡の爲に力をつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くさんと約されて歸られた。時は進んでゆく、時は流れてゐる、むなしく立つものは流されずには居らない、進む時を如何に用ふるか「手をすきにつけて後をかへり見るものは神の國にかなはざるものなり」と教へられてある。

禁酒運動の結果

禁酒運動が漸く芽を出して日々の成長が盛になつて來た。土堀り培養した時日が念入であつただけ、それ丈充分な發育が此運動に惠まるゝ事を感謝する、全國二萬五千の小學校に贈つた禁酒禁煙のポスターが、現在どう働いて居るか知らなければならない、然し此反響を調査する事は最も難事中の難事である、でもそれが出來るか否かによつて此運動の次年度の方針が自ら變更さるべきものであるからには、ぜひとも調査しなければならない、二萬五千通出した中で、青森縣下の某小學校からは、不必要として返送して來た、學校が合併した爲にわざ〳〵返して來た處も三四十はある、何等の通知のない處もある、返事の來たのはどの位あるかしらん、二割位は、如何なつたか知れないのである、どうなつたか知れないといふ事にして、すてゝはおかれない、どうしてもそれが如何なつたか調べなければならない、諸姉！ 一つ御應援下さらないでせうか、即ち諸姉が住まはれる町の、或は村の、或は市の小學校長を訪問なさつて少年禁酒軍が取り扱つて御送りしたポスターは如何御所置なさつたか、とお聞き下さらないでせうか、どうぞきいて頂きたい、そして其校長と談合して頂きたい、顏を合せて話をすれば、其間に親しみは出來願ふ處望む處もまた聞いて頂く事が出來ると信じます、特に親として母として、大切な子供の教育を願ふ者としては、どこまでも徹底的に眞劍にお願ひすべき事であると思ふ、學校を訪問して初めて送り出したポスターが生きた實例があるのです、御多忙でせう、が、子の爲、家の爲、國の爲です、學校を訪問して下さい、そして此禁酒運動が有效なものになるやうお勸め願ひたいのです。

反響の實例

岡山支部に居られた酒井富子夫人から次のやうな手紙を頂いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前略――、每度少年新報をお送り下さいまして、うれしく拜見してをります、全國小學校へそれ〳〵お送り濟みとなりました御樣子、なか〳〵の御手數で御座いましたね、私の分十枚とも佐賀縣へ參りましたと見えて各學校から御叮嚀なる御ハガキやら御手紙にて御禮を頂きました。中には日本禁酒同盟會員の先生もありました、非常に共鳴して頂いたのでほんとにうれしくて、五十錢位でこんなに有益なものならばと、つく〴〵感謝いたしました。尚一昨日南海電車の中で或人のお話に、子供が、學校から禁酒禁煙のお話を聞いて來て晩食になると、必らず酒を呑むなと云ふてきかないので始めの間は、なんの子供の云ふ事位はと思つて叱りましたが、三日目四日目になると、子供は、お父さん僕等を可愛いと思ふたら止めて下さい、そして僕が一人前の立派なものになつたらそれを見て樂しんで下さいと云ふたので自分もつく〴〵考へて見るとなるほどと思ふ點があつたから、今一ヶ月程前から一日三合の酒を止めましたら、此頃では、體重が一貫目增したので、小さい子供の忠告が、有難いと云ふて居ります―といふ事を聞いた時の私の滿足、ほんとにうれしう御座いました。中略――ポスターと煙草の話をどうか一通り私に御送り下さいませ、當地の紡績會社にも小學校がありますから、御送りしたいと存じます、云々。

御手紙を公表したとお叱りをうけるかもしれない、が、お許し頂きたい、酒井夫人の處へは十校凡て御禮狀が來たと讀んだ時私は非常に感謝した、反響は決して十分の二、三といふのではない事を發見したのである。

斯うした實際の話を御知らせ下さる事が、働くものにとつては何物にもかへがたい力となるのです、また讀んだ方も必ず大きい力をお感じになる事と思ふ。

無邪氣な手紙

「このごろ」は何でもかでも禁酒の話にのみなつてしまふ、婦人ホームの清心寮の子供が、父親に出したハガキ、それが附箋して返つて來た、私は皆樣に讀んで頂きたいとおもふた

一お父樣、お母樣、お障りはございませんか、私は丈夫で何の苦勞もなく暮らして居ります、家に居た時の惡い事をした事をどうか、水に流して下さい、今はもう決して致しません

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お父樣、お酒をやめて下さい、お酒をよして其お酒の代で貯金をして下さい、どうぞやめて下さい、お父樣お願です、

私は今禁酒軍の一人となつて居ります。

學校は六年生で一生懸命でやつて居ります。

家に居た時のやうに丙はとりません、學校でもほめて貰ひました、道子は六つでせう、幼稚園に通つて居ますか、一度顏が見たくてしやうがありません、どうか、一度來て下さいどうかお手紙を下さい、きよちやんによろしく、懷しい父母上樣に。

此手紙を讀んで私は眞から泣けました、何にも云はない子供があの無邪氣な子供が、心の中に斯うまで順序だて丶案じて居るのかしらんと思ふと、親は子供の習癖について矯正を他人に依賴する時　子供は其父の飲酒をこんなにして見て居るのです、それも只飲んで困るといふだけでなく、飲む金を貯金して欲しいといふ處に、家庭の悲慘が見えるやうではないでせうか、母親の涙も見えます、衣服の數の少ない事も解ります、滋養さへ充分にとれない場合もあると信じます、單純な子供の腦裡にうつる斯うした事實が、やがて大きい缺陷となつて社會に顯はれるのです、何としても、其父母は、子孫の爲に身を守る責任を有すものであるとおもひます。

新潟の禁酒大會

新潟で開かれた禁酒會の大會に出席した。矯風會大會には留守居した私も、此大會に出て一方ならぬ恵をうけて歸つた新潟は美しい町、柳の町であつた。由來美人國と聞いた此町も斯うした自然の背景で一層引きたつ、酒癖も盛だと承はつた。

此處での禁酒大會は盛大なものだつた、土地の人々が熱心に働かれた事は大したものだつた。全市に悉く宣傳が行き渡つて、講演會の夜など三ヶ處に千或は數百の人々を集められた。私は時が與へられたので、學校への禁酒運動に、禁酒會が應援された事を感謝し猶此後の御後援を願つた、此度の大會の結果、長尾半平氏が理事長として專心される事になり、伊藤一隆氏は東京支部の爲に、キリスト教者の結束をして奮然起つと言明された、特に私を滿足させ感謝させた一事は、小鹽幹事の就任であつた、小鹽氏は今年早稲田大學出身の、新進禁酒運動家である、同氏は、少年禁酒軍が結んだ第一の實である、同氏はまた全國學生排酒聯盟の設立者の第一人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者である、此運動に學校を出てすぐ直進して來た人である、私共は此後繼者を愛さなければならない、眞に愛して、其成長を見なければならない、彼も純眞な成長を希ふて居る、太陽がいる、雨が必要、時には嵐もまた彼の爲には遇ふべきものの一つである、どうしても同氏の爲に母となつて育くまなければならぬ、日本の禁酒運動に此若き働き人が與へられた事を喜ぶ、我少年禁酒軍の元山氏と共に今後の青年男子の指導者となられん事を祈る。

此大會では層一層我國の禁酒運動の擴張の爲に全力を捧げんと約された、また廿五歳迄の青年男女から酒をとる法律の制定が目標とされた。

日本學生排酒聯盟第一回總會

我國民こぞつて祝ふた大婚廿五年の銀婚式の日に東京で開かれた、時は大正十四年五月十日、實に記念すべき日、恰度四年前第一回の少年禁酒軍主催の禁酒講習會を開催した時、一週間の終の夜、凡ての集會を終つた午後八時すぎ、帝國教育會の樓上に數名の學生と根本正氏と私とが會した、そして一週間の講習を終了した結果、大きな力を感じ、我國の禁酒問題について深い責任を負ふた氣持が各々の心にあつた爲に學生間の禁酒運動について、結束して起つ事の必要を語りあひ、日本學生排酒聯盟といふものを作る迄に至つた、此夜の集會は、日本國の禁酒運動の頁に明記さるべきものとなつた數名のものは話し、和し、謀つて感謝をもつて閉會した、爾來三年、力より力に進み現在では全國に散在する大學專門學校中學に三十二の加盟校を有するに至つた、そして第一回の總會を青年會館の一室で開くまでになつた、京大、大阪藥專、土浦中學を初め、東京の諸大學及加盟校から代表員が出席して五十有餘名の集會となつた、つめ襟金ボタンの學生達の間に日大の堀姉は只一人の女性であつた、淨柳會長を初め、根本正先生、高島米峰先生、村上ドクトル、島村氏も來會されて居つた、元氣はいゝ、わだかまりのない青年の集會は見て居ても愉快、氣持がいゝ、列席して自分も立派な青年になつた氣がする、うれしい事である。

我等は國家がアルコール問題に一層の注意を拂ひ、之に關する智識を組織的に大中小學校に於て授けられん事を要求します

といふ決議が出來、此日の會の名を以て文部大臣に建議した丁度一日午前から夜まで此樂しい有益な會はつゞいた、そしてやがて此國を排酒國とする爲にと青年の氣は昇る。

誠に現今東京の電車内の廣告を見ても酒の廣告は科學的の文字を以て盛んに智あり學ある青年の心を動かそうとつとめて居る、是等はたしかに學生の間に禁酒運動が勃興して來たからだと信ずる、學生は人生の花である、其父母は汝等の言に耳をかたむける、笑みつゝきく、そしてうけ入れる、自愛自重して其好運なる境遇を善用して民族の爲に靜に働かれよ私は祈る。祈る――。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五錢袋の改名

久布白落實

一

滿九年間、「五錢袋」と云ひならして來た、廓淸運動用の小袋を、拾年記念として「拾錢袋」と改名しました。結婚披露後の友人を、つい舊姓で呼び立つるやうに、知らぬ間に、つい「五錢袋」と書いては書き直します。昨年は拾萬を希望しました、そして約四萬三千程得ました、今年はどうでも廿萬と希望して立ち上つて居ます、どうでもかうでも廿萬の同志を得たい、得やうと同人一齊に、力を籠めて居ります、全國の部會長、支部長の方々も必らず力を添へて下さることゝ信じます。

二

大會を終へ歸京早々、高知支部からは、面白い手紙が届きました其一節に、

今年は風俗部は、中澤すゞ子姉が、引き受けてやつて下さいます然し今日、高知新聞記者と、高知署の刑事部長と刑事の方が見えましたから、御銘々に一枚づゝ入れて頂きました、其袋丈け御送りします。

と云つて、三名の方々の署名された袋を、郵送して下さいました。

又、ついこの間、矢島先生の御誕生日には、前にホームの活花の指南をして下さつた吉野夫人が、最近永眠された、其愛嬢、きよ子姉の机の抽出しから、五錢袋に、銅貨の五錢を入れたまゝ遺留されたのを見付けたからと云つて、わざ／＼私に手渡して下さつて、同時に、娘の記念にと云つて・更らに金五圓を添へて下さいました、私も、矢島家の入口で、お祝の客人を御送りしながら、「壽」の折詰を片手に、この袋を又片手に抱いて、泪ぐましい心持ちがしました。

十五日は毎月、廢娼日、この日には幾つでも集つたものは皆部會長の手に集めると云ふ事になりました、今月は幾つ支部長から集まりましたらう？ 十五日に部會長、それから、部會長から本部へ、と云ふのですからこゝへ着くのは、大抵月末になります、四月の月末には、京都部會長の東ます子姉から參りました、今年の第一番です、五月には、全國の部會長の方々から送つて頂けると信じて、お待ちして居ます。

五月には、全國千六百の教會へ出します、大小ともに廿五枚づゝ然し其中には、全國一覽表を悉く入れて送り、御近所の矯風會支部へ、御屆け下さいと、丁寧に書き添へて置きましたから、五月に入りましたら、一齊に、どこの教會でも御揃れ下さいまして、集つて居るものを御受取下さるやう御願ひ致します。

今年の運動の上に祝福を祈りつゝ筆を擱きます。

▽**附記** 拾錢袋の同人について一言申上げます。

川崎正子姉 は今年も亦會計として協力して下さいます。

松宮しん子姉 は、今年も、風俗部幹事として働いて下さいます

松浦チサト姉 は、今度御結婚、生松チサト姉となられ、相變らず風俗事務主任として働かれます。

沖八重子姉 は、今年から風俗部の新手として盛んな元氣を以つてこの仕事に加はれました、同姉は、川村女學院に勉學。

二階堂みよ子姉 は、數ケ月間、種々風俗部の調査に骨折つて下さいました、同姉は愈々去る五月五日の船で、渡米、コロムビヤ大學の社會學研究に赴かれました。

九十三回のお誕生日

四月廿四日、好天氣、夜來の雨は全くはれて、日光が新緑の間に輝く、大久保百人町の婦人ホーム、老師の誕生日を祝して人も花もほゝゑむ。

七百通の案内を出して喜びを分つた、全國支部から電報で祝意を表されたもの五十有餘、手紙もまた多數、此日來會された人々は二百五十名を越した。

九十三回の誕生日を迎へられた老師は此日はいとゞ健かにして、正午には盛裝して椅子につかれた。

ねまきばかり人々から贈られて不自由なく暮さるゝ老師も、今日の如き祝日に際して着くべき衣服をもたれなかつた。着物を着る事にいつも反對される老師が注文された、即「帶を一本作つて下さい、巾は二寸位、美しいゝ品物で」と人々は不思議に考へた、然し老師には大きな考がおありになつたのだつた。「愛は徳の帶なり」帶は大事なものですと、此一句が此日に我等に與へられた老師からの贈物だつた。

着物は出口夫人から先年贈られた白の紋羽二重で作つた、被布は米國の友人に贈られた老師の被布を、其友から御不自由だらうからお召し下さい、あとでまた頂きますと申して來て居た物をお着になつた。

何もかもお仕度が出來て、老師も非常に喜ばれた、下まで降ると申されたがそれはやめて頂いて、來會者一同で此喜ばしい祝の式を擧げた、後一同は二階の老師の室にお訪ねして一々握手した。百餘名の人々と語り握手しても更に勞れる色もなく靜かに喜びの中に此日は終つた。

特に此日は老師は胸に勲五等の勲章をかけて居られた、皇恩の尊さを束の間も忘れぬ老師は、衣をかへして胸につけ、皇室の爲に祈られた、先年桃山に參拜の節未だ工事ならぬ御陵に參拜して地上に伏し三十分も默禱された爲一般の參拜者も警護しまつる衞士の人々も聲なく不動の姿勢をつゞけて嚴な氣が滿ちた事を目撃して居る私には、眞の神を信ずる老師が上にありて權を持ち給ふ皇室の爲に心より祈らるゝ事を知る。

今日九十三回の誕生祝の日、老師の胸に往來する萬感、よく識る事は出來ない

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迄も、老師の祈に和らぐ心と、其國を愛し、君を尊び、同胞の爲に神の御榮の顯はれん爲に、此一事をつとむと日夜ひまなく祈らるゝ事を感謝する。

老師は我等の錨である、たゞよひやすい小舟も、老師の錨によつてあやふきをのがれる、いかに風つよき日も此錨の爲に船をとめて働をなす事が出來る、内外事多き日も錨あれば安心して船も進め得ようし、静かな眠もとる事が出來る、老師一人感謝の生涯ではない、その周圍につどふもの皆感謝を分ちうけて居る、齡ますゝ永く、我等と共に住ましめ給へと祈る心になる。

此日婦人ホームの門前五十坪ばかりの處を町の子供の爲に捧げる事として、子供の園となづけて、ブランコ、スベリ臺、黒板、などをそろへた、臺灣會の學生はベンチを寄附された、九十三の老師のお誕生記念に子供の園が生れた事もまためでたき喜びである。

此日、美しい花や、心入の贈物で老師の室は満ちた、またホームの隣家九十八軒を初め町の人々をも御案内申した爲に子供等が數多く來會された事もうれしい事の一つであつた。

村上夫人は、先年矢島先生が禁酒演説をした息子の手をとつて下さつて祝福して下さつたおかげで、今息子は學校を出て、海外に留學して居ます、これは感謝のしるしです、といふて私に渡された紙包に金壹百圓也封入されてあつた、これこそ尊い捧物、最もよき事に使ひたいと御相談して居る。

ホームの娘等は教師等と心を合せてベツトカバーを作り上げた、中央に「祝九十三、一九二五、四、二四」と縫つてある、色どりのさつぱりした美しいものが出來た、老師より贈つたものゝ方が喜びに満ちた、ほんとに豊なお誕生祝日だつた。

どうぞ神様、大事な先生をお守り下さいまし、そして一日も永く私共と一緒に住まして下さいませ。アーメン。

此日寫眞をとりました、私の小さいコダックで。欲しい方にはお分けいたします、實費貳拾錢。よくとれてゐます。上手な寫眞といふより紀持のいゝ先生のお顔です。（東

「トーチベアラー」を讀みて（三）

ガントレット恒子

最初の會頭の功績

偉大なるウヰラード女史の、太陽の輝きの様な光の中におほひ包まれて仕舞つた感のある、婦風會最初の會頭であつたアニー、ウヰテンマイア夫人は、中々の敏腕家であつた、記者として、慈善事業家として知られ、有力な婦人であつたが婦風會の會頭としても、最も事業の困難である創立時代に於て、其全力を盡して事業の發展を計つた、第一の人であると同時に雄辯な夫人は、東奔西走して宣傳に組織に夜を日についで働き、安息日を除く外殆ど毎夜演說會に臨み、一週間には數百哩を遠しとせず盡した結果、其在職六ヶ年間に二十三の郡に支部を組織した、一八七五年の如きは、一ヶ年間に各郡に開催せられた大會の數が四十六に上つたと云ふ事實だけでも、夫人の精力家である事を證明して居るではないか。

在職中の重要視さるべき事項は、フヰラデルフイヤ市に開かれた、萬國醫學大會に、酒害に就ての意見書を提出し、其結果、歐米の醫學界の泰斗に由つて組織せられた委員會に於て、アルコール問題を熱心に審議し、アルコールは有害物であるとの決議をなすに至らしめた事と、ニウジャーシー郡のオーション、グローブに全國婦人聯合大會を催し、靈的にも智的にも、米國婦人に大なる覺醒を促した事等であると云はれて居る。

ウヰラード女史會頭として就任

ウヰラード女史が會頭として就任されたのは、一八七九年であつて、インデアナ郡のインデアナホリス市に開かれた第六回大會の席上で公選せられたのであつた、其當時まで、次

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

史は、ノースウエスチン大學の學長として重要な位置にあつたので、直接社會事業に沒頭する事を許されなかつた、然し女史は、自分の使命を明かに識認した時、名譽ある、有望な位置を、潔く投げ出して、全然社會事業に身を投じた、アナ・ゴールドンが史に由つて書かれた「ウキラード女史の傳」を繙く者は、教育家として、慈善家として、旅行家として、雄辯家として、事業家として、多ゆる人としてのウキラード女史に、まみゆる事が出來る、而して何人も、女史が十九世紀の生み出した、偉大なる女性の一人である事をいなむ事は出來ないであらう。

「歴史は二三の熱ありカある人々の周圍をめぐり〳〵てつらる〻傳記に過ぎない、彼等は初めから、特に偉人として生れ出でたのではない、單、彼等は自らを空しくして、從順に淳に、神の聖旨を世に傳ふる機械として提供したから、人の眼には不思議とまで見ゆる大事業をなし遂げ得たのである、俗の人の眼には堅固な意志、動かぬ決心と映つたのは、實は神に向つての眞の獻身であり、私なき奉仕の心にほかならないのである」とエマソンは云つたが、ウキラード女史を知る者は確に女史の力は、全く神に自己を捧げた生涯より湧き出でた事を承認せない譯には行かないであらう。

歴史上人類の思想を新らしき軌道に導き、新らしき世紀を造り出した、モーセ、コロンバス、ルーテル、ウエスレー、リンカン等の名と並べ稱へらる〻者の中には、必らず、フランセス、ウキラードの名も記憶せらる〻であらう、女史はビジョンの人であると同時に建設的才能に富んで居つた、今日五十餘ケ國に支部を有する、萬國基督教婦人矯風會の大規模な組織も、幾十を以て數ふる各部及び課の設置も凡て女史の腦裡に於て畫策せられたのである。

ウキラード女史と傳道

女史の社會事業は、熱烈なる救靈心と何時も兩立して行つたのである、一八七六年と七年に女史は、ムーデー氏の招聘に應じて、氏のボストンに於ける福音傳道隊に參加した、而して福音の傳播と禁酒事業は車の兩輪の樣でなければならないと主張した女史は、毎夜々々、バークレーとバークストリートの教會堂に群つて來る數千の聽衆の前にキリストの福音の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

證をした。

メリー、エー、ラスベリー女史が一八八三年に著した「婦人と禁酒事業」の中に次の樣に書いてある『ミス、ウヰラードは云つた、私の衷心からの慾望は牧師となる事であつた、若し私の教會が婦である私に教職を許して吳れたなら、私の深い〳〵希望は充たされたのであつた、旅から旅へと傳道して歩く、傳道師、改革者の生涯も好ましくないのでないけれども、自分が幼少の頃からの望を充たすには、何となく物足りなさがあるのだけれどもキリストが、主に於ては、男も女も區別はないと仰せられた事が必ずや實現せらるゝ日が來る事を、確信し、且つ、婦人であるから、出來ない事、婦人であるから許されないと云ふ仕事も、位置も決してないと主張する私は亦決して、教會の律法を輕々しく批難する人々の中に數へらるゝ事を好まない』と。

ウヰラード女史とアナゴールドン女史

後年、ウヰラード女史の殆ど半身の如くになつて、其事業の後繼者となつた、アナ・ゴールドンが、ウヰラード女史に見出されたのも此時代であつた、女史の言葉を借りると『丁度一八七七年ボストンに開催せられつゝあつた傳道會の婦人會の一つを司會しつゝあつた私は講壇の上にある私の机の側のオルガンを奏く人の居らない事に氣が付いた、私は聽衆に向つて、誰か此役をつとめてくれる人はないかと熱心に勸誘した、其時、黑い淸素な服裝をした一人の若い婦人が進み寄つて來て、恐る〳〵「他にお彈きになる方がない樣ですから、私が、出來る丈けやつて見ませう」と云つた、其がアナ・ゴールドンであつた、而かもアナは、其日初めてオルガンの第一回の教授をうけたばかりであつたさうだ、アナは其日にムーデー氏の說教の中の『神の命じ給ふ事は、其が何んであつても、なすべきであるとの言葉を聞いて、心ひそかに、之を實行し樣と堅く決心をして居つたのであつたが、其の機會がすぐ其日の中に一千五六百人の婦人の集會の席上に起らうとは夢にも思はなかつたであらう、私は此の話を聞いた時心の中で、實に珍らしい婦人だと感服して仕舞つた、其から每日音樂を以て私の仕事を助けてくれる事を承諾したアナを私は初對面の人とは思へなくなつて、段々に通信や事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

務を其忠實、親切な手に、遠慮なく托するに至つた、そして正確な整頓した執務振りと、人に對する圓滑な應對振、巧妙で而かも事務的な通信振りに於て、私は未だ、アナの右に出づる人を見ない。

アナ・ゴールドンは十五年、レストカテージの靜かな住居の私共の同居者であつた、私の母はだん／＼年とつて來るにつれ、家事を、アナの手にまかせる樣になつた、私は愛する母の爲に、此家を能ふ限り、美しく、心地よいものにし樣と努めた、特にヘンレー・サマセット侯爵夫人を英國から此家に迎へる事になつた時は、念入りの上にも念を入れて整理したのであつた――此丈でもウヰラード女史とゴールドン女史の離れ難たない親しさが、うかゞはれる。

支部巡廻

一八八一年になつて南部に支部が設けらるゝに及んで、ウ女史とゴ女史は支部組織の爲め出發した、此時の集會の一つに、司會の役を務めた、ステブン大佐は、演壇に立つた、ウヰラード女史を會衆に紹介して斯う云つた――ウヰラード女史は、今日の此集會には出席せらるゝ事を躊躇せられたさうである、其には三つの理由があつたさうだ、第一は、御自分が婦人であるから、第二は御自分が北部人であるから、第三は禁酒家であるから、けれども私共は、滿腔の感謝と郤く希望を以て、女史を御迎へするのである、何故なれば W.C.T.U. は頭字で、其を取つて云ひ換へれば「We come to unite the north and south」「我々は南北を一致させる爲に來た」となるからだと、面白く且つ意義ある紹介をした、來會者中の一記者は、之を聞いて W.C.T.U. は Washing contract taken unconditionally」の頭字ともなり（洗濯の請負を無條件にてなす）實に婦人には好適の事業である、確に婚風俗は國家の汚辱を、洗ひ淨めるに足るものであると附け加へた。

此巡回旅行中には種々樣々な集會が催されたが、いつも大きな集會で熱心な聽衆を得て居つた、或る日の如き、テネシー郡のナシビルでの集會で、一人の青年からウヰラード女史に向つて「今晩此數百の聽衆の中には多數の學生が居りますが、大多數は、御話が承り度いと云ふより寧ろ、好奇心にかられて、出掛けて來たのですが、私共は今まで、婦人が、

こんなに立派に演說が出來ると思つた事もありません、實際驚かされました、先生御承知の樣に南部は中々保守的で、婦人觀も矢張舊思想によつて居るのですが、其舊思想の我々でも、先生の御高說には感服しました「我々は先づ、眞に女らしい女とならなければならない、若し其が出來れば、あとの事はひとりでに出來る」と仰せられましたが、先生を御見上げ申すと、本當に先生は之を實行して御ゐでになると思ひますと、眞面目に陳べた、北部とは風俗も思想も、大分差のある南部での働きは、かなりの骨折りであつた、女史は、集會へ出る前には特に密室の祈を怠らなかつた。

チエーピン夫人と黑人

婦風會の仕事は全人類を抱き、人種の差別も階級の上下も眼中にないのである、チエーピン夫人が南部の州の黑人の集會で演說を終つた時、一人の黑人の牧師が立つて「私はチ夫人が何郡の御生れであつても、構ひません、とにかく、南部の方ですもの、私共の味方だと信じます、夫人は天が私共のために送つた、天使であります、私は學問もなく、身分もない卑しい者ではありますが、若し私が世界中の最も強い言葉を皆知つて居るとしても、私が夫人に對して、持つて居る感恩の念を云ひ表はすには足らないのです、私共黑人は一團となつて、婦風事業の爲め盡しませう、而して世界中何處へあなたが御出でになつても我々は祈を以て御同伴をいたしませう此世の中は愚か、天國でも必ず御そば近くに御ともいたしませう」と淚にふるふ聲で云つた、

ウヰラード女史と大巡廻旅行

一八八二年と一八八三年に亘る一ヶ年間に於て、此等の熱心なる開拓者達は、實に三千哩の旅行を續け、人口一萬以上の町と大都市を訪れて、會を組織した、ウヰラード女史は、常に口ぐせの樣に云つた「若し私にアナ・ゴールドンが與へられなかつたら、私の仕事の半分も完成せずに終つたであらう」と、此二人の救靈慾に充ち／＼た婦人達は、教會と云はず、個人と云はず、機の與へらるゝ處に常に「汝人にせられんと思ふ事を又人にも其如くせよ」との主の御命令を傳へ、此キリストの金言が、實行さるゝ時でなければ、世界に黃金

時代は来ないと説いて歩いた、ウヰラード女史は、個人の禁酒、國民の廢酒を叫び、其實現を來たす爲には、請願運動、法律運動、婦人参政權獲得運動などの重要な事を主張し、兒童保護、奴隷廢止、工場法改善など凡ての善き仕事に手を付けて居らぬ事はない程であつた、アナゴールドンは此間終始ウヰラード女史と、協力して、其提唱する處を實行する事に努めた、廿一年間の彼等二人の生活は、かなり困難の生涯であつたが、二人は能く互に助け合つて、艱難の大浪を乗り越えた。

彼等は實に、トーチベアラー(燈火を揭ぐる人)であつた、彼等は到る處に同志の婦人を糾合して、彼等の心に靈火を點火せずにはおかなかつた、私共は婦人だから、社會事業などには手を出せないと、しりごみする樣な人達に向つて、女史は常に、斯う云はれた「矯風事業は、母として立ち得る凡ての婦人の仕事である、婦人であるが故になすのである、母性愛は奇術の樣でなし得ぬ樣な事をなすが、組織だつた、團結した母性愛は、奇蹟を行つて人間以上の事を完成せしむるに足るのだと教へた。

ウ女史とユーモーア

開拓者等の初代に於ける運動は、困難も多かつたに異ひないが、又樂しかつた事、面白かつた事も澤山あつたのだ、ユーモアに富んだ、二人は常に機に應じ時に臨んで、苦痛をかへて喜びとなし、不便の中に面白味を見出す事が出來た、ウヰラード女史の日記の中に、自分の愛用した、手提カバンの事を書いて「此のカバン、可愛いカバン、大切な、カバンよお前は中々の物知りだ、私の歩きまはつた處で、お前の行かない處はない、暖い國へでも寒い町へでも、お前は私と一緒に行つた、私はお前の親切と、無口なのに甘えて、隨分お前を虐待した、疲れた頭の下に枕としたり、足を休める足臺にも使つた、時には手紙書きの机代用にしたり、投げ出す事も押しつぶし相にした事もあつた、お前の腹が破れるほど、幾本となく、原稿や手紙や、葉書を詰め込んだりしたが、いつもお前は忍耐して、おとなしく私の思ふまゝになつてくれた私の持ち物の中で、私の記念品となるものがあるとしたら、其は確にお前だ。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

知識慾、仕事慾の旺盛であつたウヰラード女史は、又非常に旅行好きであつた、森の家の門口に立つて、妹メリーに「メリー私達は何時になつたら、世界を見に出掛ける事が出來るんだらうね」と歎息した少女は、大きくなつても同じ心持ちで、何時も新しい世界を探して其處に仕事を求めたのであつた。

ウ女史と西部遠征

カリホルニヤ郡に於ける女史等の働きは非常な期待を以て迎へられた、ロサンジラスの會長は、五百哩の遠くまで、態々一行を出迎へに出た、此處にも彼處にも、會は組織せられた、而して各集會に集つた寄附金は一千弗の多額に昇つたけれども、女史は其を全部、カリホルニヤ郡の事業費として其處にのこして歸つた。

オレゴン郡を巡回中に女史等が見聞した面白い話を二三次に書いて見やう。

オレゴン、ワシントン、アイダホー郡の恩人否、合衆國の恩人（此等の郡を合衆國に編入させる爲、四千哩を馬上に旅して中央政府を動かした事蹟）である、初代の內國宣敎師、マーカス・フヰトマン氏は、アメリカンインデアンの中に特別な力を注いて傳道した人で矯風會にも大恩人であつた、此人の感化は、結局矯風事業の爲め地ならしをしてくれた樣なものであつた、其例の一つとしてウヰラード女史が耳にせられた話は「或時フヰトマン氏經營の學校で、禁酒主義を、すつかり吹き込まれた一インデアン少年が、自分の町に酒店を開かせるか否かと云ふ協議の爲開かれた、町會に出席して居た、すると誰か、此少年にも、意見はないかと發言を許した、少年は勢込んで「あなた方白人は紙に黒人には酒を賣らないと書くよろしい、白人は自分で酒造る、自分で飲むよろしい、インデアン、酒のますわるい」とおぼつかない英語で意見の發表をやつて、町會議員をアット云はせた、そして彼の意見は採用された。」或る時有名な說敎家が、旅行中移民の家族に出逢つた、其荷物の中に、底なしの酒ビンがブラ〳〵と積荷の上にぶら下つて居るのを見て　此は何かと尋ねた、「之はテーラー壜です」、不思議な壜もあるものだ、なぜそう云ふのか「わしの息子がテーラー大將につれられて、メキシ

コに出征して居たんだが、大將はいつも酒場は底ぬけに呶ると云つて、酒好きの兵卒には場を見る丈にさせたと云ひますから、わしも此頃は其をやつて居ます」と答へた。

ルイストン市に着いた時、ウ女史一行は、ジフテリヤが流行して居るからと云ふ理由で、官憲が凡ての公會を禁止したと云ふ事を聞いた、其は而かも、長い間公告され、宣傳されて居た一行の演説會のあると云ふ、たつた二日前の事であつた。勿論其は酒造家の魂膽に過ぎないとは分つて居つた、けれども、反感をかふ事は賢い仕方でないと知つて居つた一行は、静かな集會を一會員の家の客間に開く事にした、此の小さいカンベンション（大會）に於て、聽衆はなくとも、凡ての豫定の計畫は遂行せられた、規則書も出來、役員も選擧せられた、而して歸途に就かんとした時、大會の全會衆は一つの馬車に乗り込んで一行を船まで見送つたのであつた。

ニウタコマ、モンタナ、ミゾラー、オグデンと到る處に大歡迎を受けつゝ、彼等は此偉業の基礎を据ゑた、到る處に其市其町の狀態と時運に適應した處置を取りつゝ、彼等は電信線の様に、東西南北に會の支部を作つて廣く聯絡をとつた。

本部は電信本局で、各支部は電信支局であつた、而して新しき村に、新しき町に、電柱を樹て、工事が進む様に、日毎に擴張の事業は進んだ、此電線を通じて傳へらるゝ報知は、福音であつた、國を酒なき國、純潔の國、平和の國となすの福音であつた、而して此工事が終に一國に止まらず、萬國にまで擴げられ、神が私共婦人の手に、托し給ふた神國建設の事業を白紐の語の中に萬國一致協力して盡すに至つた・斯のみを共力として数十人の婦人に由つて開拓せられた禁酒軍の事業が十年後にかくも發展すると何人か想像し得たゞらう。

△金澤の大會より送りし電文

矢島先生へ、一一五のダイインシユクフクチオクル。

守屋氏へ、キ・シユノダメヒンカイミナタツタ。

城のぶ子氏へ、リホミメイトザンネン。

二宮わか子氏へ、カホミメイトザンネン。

飯田いせい氏へ、カホミメイトザンネン、センカイチイノル。

松山常次郎氏へ、ケツソウカイタイカイハギカイニオクルコフトウナカンシヤス。

尾島三郎氏へ、タイカイハギカイニオケルゴソントウナシヤシゴカイソクチイノル。

30

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞の友達

ガントレット恒子

五月

一日

年毎に私共の友達の數は減つて行く、けれども、其は只私共の眼界から、さへぎられる丈であつて、所を隔つる眞の友達が信仰に由つて、思ひ續け、天にある彼等との交りの益々深くなり行く事は實に美しく且つ樂しい事實である。

キーブル

二日

一匹の蟲けらにても、無益に痛み與へたり、一羽の鳥でも用なしに射落す樣な人を私は私の友達の中には數へ度くない。

クーパー

三日

眞の友達に、一夜の宿でも貸し得る家庭は、幸福である。

ファドラス

四日

友達は見出さるゝのであつて、強ひて作り得るものではない。

五日

私の小い平和な家庭が我の要求を凡ての點に滿足させて居る、之に讀書と友達を加へれば、其で私の幸福は完備する。

フランシスコ、デー、リオーヤ

六日

汝我が友となり、我を教へて、汝の友とならしめよ。

エマソン

七日

良友の有無は人生の重大問題である、眞に活きる事を知る人は先づ眞に愛する事を學んだ人である。

チャーチヒル、キング

八日

世界中の人が、あなたから逃げ去つた時、一番先きにあなたの處に馳せつけて、慰めて呉れる人共か、あなたの眞の友達であるのだ。

九日

友達と呼ぶ人は常には數へきれぬほどある樣だ、けれども時に何事か、あなたの身に起る時、其友達は何處に消えたか分らないほど、少くなつて仕舞ふのである。

リツトン

十日

私は只一人でいゝから眞實の友達があれば嬉しい、幸福な時にも不幸な時にも、變らない彼があれば、世間が何をしても私は、少しも痛痒を感じない。

クラーク

十一日

友達と云ふ言葉は、何と云ふ美しい、懐しい言葉だらう、只黑い、活字の上に表れた丈の言葉でも、私の心を温くするに足る言葉だ。

ピレル

十二日

どんな仲の好い友達でも、禮節と云ふ、セメントがない時は、何時か隙間が出來て、其處から水が這入る恐れがある。

チエスタフヰールド

十三日

私共のなさんと企てる事を爲し遂げさせてくれる人は至つて少い、之をさせてくれる人が本當の友達であるのだ。

エマソン

十四日

人生を幸福に送くる祕訣は、何處に住んでも、其處を永住の地である樣に考へ、凡ての周圍の人に親切を以て交り、常に眞實と正義を行ひ、善良なる友達を作る事にある。

ラスキン

十五日

或る友達は、河邊のあしの樣に美しく榮えて見えても、容かゝると、もろく折れて仕舞ふのに、あなたは、友としての凡ての德を備へた、賴母しい、強い眞の友達である事を私は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感謝する。

十六日

本當に自分の心を知つて居てくれる友達に、ほめられるのは、數千の無意味な讃詞を受けるより、遙か嬉しい。

ブリクヘッド

十七日

父を失つた子を孤兒と云ふ、妻を失つた人を鰥夫と云ふ、友達を失つた人には何の名もないのは、如何なる國語も共淋しさを云ひ表はす言葉を持ち合さないからではあるまいか。

十八日

いくら持ち合せても、損でないものは、良い書物と良い繪畫と、善良な友達である。

十九日

愛は希望に活き、友情は、記憶に活きる。 ガシコート

廿日

友達は私共が家を作る樣に作り得るものではない、庭の隅の茂つた葉蔭に、香はり高い鈴蘭を探す樣に探しあてるものに與へられるのである。

レーグー

廿一日

ルツ云ひけるは、汝を棄て汝をはなれて歸ることを我に促すなかれ、我は汝のゆくところに往き、汝の宿るところに宿らん、汝の民はわが民、汝の神は我神なり、汝の死ぬるところに我死にて、其所に葬らるべし。 ルツ記一章一六、

廿二日

友達は神が我々に與へて下さる賜物の中の最大なものである、友達は我々の喜びを共にして之を深め、苦しみを分ちて重荷を輕くす、只友達が欲しいと思ふなら自分が先づ友達とならねばならぬ。

チッヂ

廿三日

私には一人でも完全な人格者と云ふ樣な友達はない、勿論私も完全な人間ではない、それだから、我々はシックリ心が合ふのだと私は思つて居る。

ポープ

廿四日

若し自分の爲に丈使ふ金であつて、困難にある友達を救ふ爲に使はれない金なら、其金は死んだ金である、金は此世限りの道連れだけれども、友達は墓の彼方までも保ち得る侶伴である。

廿五日

苦勞は一日、快樂は一時、けれど友達は永遠のものだ。

エマソン

廿六日

一度手を握り合つた友達が、手を放して爭ひ別れる時は、其隔りは、生と死の隔たりに等しい。

廿七日

純眞な友情の發露は、人が自分の事よりも先きに、其友達の爲に計り友達の出世、發展、名譽を心から喜ぶ所にある。

ジエレメ・テーラー

廿八日

逢ふ度に手を握る人、通りすがりに頭を下げる人は數へきれないほどある、然し私共の心の門を明けて迎へ入れ得る友は至つて少ない。

マッセー

廿九日

アー、わたしのルーセー！　苔むす石の下かげに、人目を避けて咲き出たすみれ、人に知られす、名も知れす、石碑の下に消えたとき、私の世界は眞の暗黑、涙の世界となつてゐた。

ワーズワース

丗日

友達な感謝を以て迎ふる時は友達の凡ての缺點に對する不滿は太陽の前に消える露の樣に立ち處に消え失せる。

ランダー

卅一日

眞實なる友は、汝の光輝、喜悅、快樂、名譽なり。

感謝

六月

一日

汝凡ての事柄に感謝すべし、これ爲すべきのわざなり。

二日

主よ今日も感謝の一日を送らせ給へ、今日我を用ひ給ひて主の示し給ふ時、導き給ふ場所に働きて善をなさしめ給へ。

三日

一日の苦勞は一日で足りると主は教へ給ふた、明日は全く

未知の世界だ、私共は恐怖を退け、涙をかわかし、笑顔を以て來る日を迎へやう。

四日

失望と希望は隣同志である、凡てを神の知り給ふ所と信じて、最善の努力と感謝を以て進む時に、失望は希望に早替りをなす。

五日

感謝の數學には、智識を加へ、悲しみを減じ、喜悦を乘じ重荷を除すの加減乘除法が含まれる。

六日

あなたの計畫が、神を愛する心と、神の恩惠に對する感謝の念より湧き出たものであるならば、其は必ず成就する。

七日

私共の祈は餘りに願ひ事が多くて、讃美と感謝が不足して居る、其だからこそ本當の祈、眞の喜悦を味ふ事が出來ないのだ。

八日

エホバはわが牧者なり、我乏しきことあらじ、エホバは我を、みどりの野にふさせ、いこひの水濱にともなひたまふ。

詩、廿三篇一、

九日

なんぢら神の子らよ、エホバに獻げまつれ、榮と能とをエホバにさゝげまつれ、其名にふさはしき榮光をエホバにさゝげまつれ、きよき衣をつけてエホバを拜みまつれ。

詩廿九篇一、

十日

目いまだ見ざる榮の國を想ふ時私共は心から凡てを忘れて感謝する事が出來る、其國に於てこそ凡ては完成せられ、滿足が得らるゝのである。

十一日

あなたの一生を通じてなして來た事を顧みる時、一番感謝に値ひする行爲は、愛の流れから溢れ出たした行爲である。

ドラモンド

十二日

自分自身を信ずる事の出來ない人は、他人を信用する事が出來ない人である、世の中の凡てに不滿を抱いて、何事にも感謝の心を持たぬ人は淺薄な人、小い人である。

十三日

信仰は愛を伴ひ、愛は平和を來たし、平和は神を示す、神の在す處には何の缺乏も恐もなく、只感謝と讃美あるのみ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十四日

主よ私は、明日の爲には祈りません、只今日私を守つて凡ての罪の汚より救つて下さい、そして、こよひ、あなたの聖座の前に跪く時、凡ては感謝の一言に盡し得る一日を送らせ給へ。

十五日

朝日にひかる露の玉も、夕陽に輝く金色の空も、木々に唱ふ小鳥も、葉蔭に咲きにほふ、すみれも、皆一つとして美はしく、優しく、清からざるものはない、皆神の聖手の聖業であるもの。

十六日

感謝の生涯は、好きな事はかりして暮らす事ではない、何んでも自分の爲すべき事を喜んでなし得る樣になる事である

十七日

働く事、人を助ける事、艱難を通して人の同情を味ふ機會を與へらるゝ事、疑を超えて信仰の域に入る事、此等は我々の生活を完成に導く道程である。

十八日

感謝の曉の前には、いつも、艱難と云ふ、暗黑の夜がある事を忘れてはならぬ。

十九日

私の前途はまつくらである、私の眼は一分先の事をも豫知するの明を持たぬ、凡ての將來は神の大きな聖手の後にかくされてある、愛の神が斯くなし給ふを知つて私は感謝せずには居られない。

廿日

どんなに暗い日が來ても、神の聖顔の見えぬ日は決して來ない、要は只私共が自分の顔を神の方に向ける事である。

廿一日

私の世界は明い世界だ、眼を下に向ければ色取り／＼の花があり、眼をあけて空を仰げば太陽が輝いて居る。

ブラウニング

廿二日

小い少女は教師の机の前に立つた、手にせし書き汚せし清書の紙を教師の前に差し出して「先生、こんなに、出き損ねました」とおそる／＼云つた、教師の顔は一時くもつたけれども直ぐにこやかに輝いて、引出しから、一枚の白紙を出して與へた、そして「子よ今一度書き直せよ」と云つた、之は私共が神の前に毎日／＼繰り返す出來事であつて、日々の生活のやり損ひを、主は許しては又新しき一日のページを下さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、感謝でなくてなんであらう。

廿三日

祈は願ひではない、神を讃美し、感謝の念に充つる時が本當の祈の時である、感謝は神の聖座に私共を導く階段である

廿四日

感謝の言葉も、感謝の祭りも、其等が、どんなに、長く美しくあつても、感謝の生活にくらべては、何の價値もない。

廿五日

天の父に對する、感謝の念を裏に深く持てばもつほど私共の隣人に對する行為は、謙遜で、優しく親切にあらねばならぬ、なぜならば、傲慢、不遜なる心は、感謝を其中に宿すことは決して出來ない。

廿六日

心から、清く、高く、感謝の聲を舉げ得る時、私共は屹度他の人達を共に和せしむることが出來る。

廿七日

大神の聖手の業なる、宇宙に眼をはせて、其造り給へる萬物を見る時、大なる物、美なる物、清きもの、愛すべきものを結び合せて、完全なる一つとなすに必要なる、セメントは即ち謝恩の念である。

サウス

廿八日

きのふは夢と過ぎた、あしたは、想像の内にある、只今日のみが現實の世界である、今日を感恩の日として過す事を得ば、きのふの夢は幸福の夢となり、あしたの幻想は希望の幻想となる、されば今日を感謝して過ごせ。

廿九日

笑は最良の妙藥であり、快活は研究に値ひする學理である、人生の幸福の過半は此二つをえとくする者に與へらる。

卅日

若し私が、決して病氣の味を知らなかつたならば、私は健康な感謝することを知らず、若し愛する者を私共の眼界から失つた經驗がないなれば、私は決して約束の天の住居を、心にあふぎ望み、靈魂の復活の喜と榮光を信ずることは出來ないに違ひない。

人生は、愛し、働き、喜び、仕へるの機會の連續であるが故に之を愛し、感謝して活き、己の有ち物を以て足れりとなし、嫉妬を憎みて眞を愛し、公平と公義を確く保持し、仇を追はず、友を求め、主の聖足のあとをふみて、靈と肉との慾を制し、己を忘れて、隣人の德を建つるを得る時、感謝の聲の裡に平和が確立せらるゝのである。

バンダイク

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

父。五月。

守屋東

幾年前かの、五月十九日、一人ぎりよりない父を失ふた五月、私は此月を忘れることは出來ないのだ。

父とは此世に九年より共ならなかつた。が、然し、父の印象は深く／＼私に印されてゐる。

父の聲はもうすつかり忘れてしまつた、どの調子で出て居たか、更に記憶にない。其顔は寫眞によつて殘されてゐるままに忘れもしない。

聲や顔や其姿でなく、私の心に印された父は二六時中生きて動く。別れた當時より年がたてばたつ程深くきざまれる、味へる、何といふうれしい事だらう「愛なればこそ斯くあるのだ」と獨語する事も折々ある。

ヨメナの好きだつた父は、或日洗ひ物をかゝへて近くの川に洗濯に行つた女中の菊が、河原に小ざつぱりとはえて居たヨメナを一摘もつて歸つて夜の膳にあしらつた時、どの位その志をめでゝよろこばれた事だつたか、菊も大きに面目をほどこして、何でも御褒美を頂いた事を記憶して居る。

早く選抜されて長崎に醫學を修めた父は其當時のハイカラだつたと今おもふ。

三度の食事の時、めい／＼ナフキンを使はせられた事や、フインガボールを用意してあつた事など。

私の顔がまづいので、父も教育に苦勞をしたらしい、子供の時分だから氣にもとめずに暮したものゝ、この頃になつて顧みてみると、父の苦心を感謝する。

「貴樣は不縹緻だ。が、いゝ、豪傑になれ?!」

この言葉は今もはつきりとのこつてゐる。

不縹緻が何か、豪傑が何か、解らない子供だつたけれど、父が豪傑になれといふのだから、なれるもの、なるもの、そしてならうと思ひこんで居たらしい、まことに恐ろしい事な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から、今日の自分が、人の前に出て、ふ[illegible]でも別におもはゆい氣持もなく進めるのは全く父の賜と思ふ。

父は敬神の念、誠に厚い人だつた、出勤する時は必ず神を拜して出掛けた、正月など家族は座敷に正座して、御眞影に最敬禮をすませて後、祖先の靈に順次禮拜をした事を忘れようとして忘れられない、子供心にも壯嚴な氣をうけた事、宗敎々育の第一歩だつたと思ふ。

父はなか／＼さばけた人でよく踊つた。本をよむ聲をきく事がすきで、母に『お父樣におきかせ申せ』と命ぜられた事が幾度も／＼もあつた、病中も子供等の本をよむ聲に耳をすました事が度々だつたと母が人に語つたのを記憶してゐる。

父がいよ／＼むづかしいといふ日、庭で妹等と池の鯉をつつて遊んで居た私は、叔母から「殺生すな」とたしなめられて幾尾か釣つた鯉を、勇ましく父の爲にはなしてやつた其時の氣持を今もおもひ出す。

父から私はたつた一本手紙をもらつた、祖父が福岡でねむられた時、父は行つて居た、そこから子供の私に送つた手紙それ一本ぎりだ、或る日、古い書物など整理しつゝ其なつかしい手紙を讀んで居た私は

『アゝこれ一本ぎり、他の人は幾本もお父樣から手紙が來るのに――』

と嘆いた。側に居た妹が、

『姉さんはいゝわ、私なんか一本も頂いた事ありやしないんですもの――』

と私は眞からすまない事を言つたと思つた。

父は早く逝つた、母にどの位世話になつた事だらう、母はどんなに頼りない生活を永い間した事だつたらう、父に別れた子供より、夫に別れた妻の氣持を想像する年になつた自分は、今更母をありがたく思ふ。そして父が只九年の間に殘してくださつた強い印象を尊く思ふ。

一九二五、五、四、美しい五月の夕

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おたより

林歌子氏から

理事會の御報告と『婦選』正領致しました、十日の日曜の夕べ九州の天地より電報にて、禮拝に特に教會に一夫一婦の話を全國へ廣め運動せよとの事。

幸にも明三日は神戸にて、關西聯合婦人大祈禱會開かる。

これぞ好機と其話を持ち出して直に同意を得て全國の支部長に宛て其地の教會の牧師に一夫一婦の話を廣めよ、と九十七通打電致しました。料金八十二圓卽時に與へらる。

金が少し少なくして、滿洲だけが殘りました、今色々と考へます、これだけは本部からどうぞ御打ち下さいませ、和田姉方に御滯在の飯田夫人へも其旨申送りました、滿洲は本部の御受持に願ひしと、どうぞよろしく。

眞に不思議なる神の導きの難有事つくづくと眠られぬ、嬉し、昨日の集會は三百人に近し。

今度私は社會事業大會に出席致します。又バザーを計畫致し五月廿七廿八日の兩日大活動、どうぞ御祈りを乞ふ。何事も惠まれねばならず。明日は午後二時より幹部の集會、御祈を乞ふ。これから孫の顔を見に參ります。

■

松宮しん子氏から

昨日御別れしてあれから、直ちにノルマン氏方の婦人會へ列なり來會者二十有餘名、(社會に對する私共の責任)といふ題にて矯風會の主義主張より說き及ぼし長野縣を救ふ爲長野市のクリスチャン婦人が覺醒してたゝねばならぬ事をのべ長野に矯風會支部をたて私共同志が手をつられて働らかうではないかといふ事を極力のべその場にて八名の契約して入會する方々が出來ました。是非二十五人位にしてこゝに長野支部のうぶ聲をあげたいといふ事になり、感謝に滿ちて閉會いたしました十錢袋もその場であつめこれは長野の方々の扱ひとしてのこしました。今十一日と明後十三日當地市長丸山夫人の主幹せる婦人會の主催で食物研究の實際と理論に就ての講習會を催す事になり十三日夕まで滯在十二日夜は復活祭の夕べ教會で話しをする事になつてゐます。ハレルヤ

■

門田愛子氏から

これは神戸の門田愛子夫人からガントレット夫人への御手紙を拝借したものです。お二人はまだおさげ髪のお小さい時分からのお友達で、共に女子學院の御出身です。お二人の

本部日誌抄

三月

▽二日(月)　午前十時より婦人ホームに於て理事會開催

▽三日(火)　夜婦人參政權講演會。宮川辯士の一人として出席す

廓淸會同主義者大會、本會より小崎會頭、ガントレット、山內、守屋、松宮、松浦の諸姉外數名出席

▽五日(木)　米國矯風會の各州の會頭六十四人に禁酒の繪ハガキを送る

▽九日(月)　婦人ホームにて午前十時より理事會開催、午後東京部會役員會

▽十　日(火)　議會婦人解放デーの爲め幹部及會員有志傍聽す。

▽十二日(木)　大會プログラム五錢袋、其他大會準備

▽十三日(金)　久布白幹事大阪へ出發

▽十六日(月)　久布白幹事理事五名訪問

▽十八日(水)　割引券と代員證とを全國の代員に發送

▽二十二日(日)　久布白幹事小畑姉同道にて東京モスリン會社女工の爲め講演に行く

▽二十三日(月)　午後より大久保百人町婦人

女子學院にゐらした時分にはおつれさんお愛さんといふやうにいかにも親しみ深い呼び方をするのが常でした。

此の御手紙の中に、子が思ふ限りない母親の温い情けをしみ〴〵と味はうことが出來ます、個人のお名前も其まゝに出すことをお許し頂きます。又、門田夫人が最近四人の讀者を御紹介下さいましたこともこゝに記して感謝をいたします。（記者）

× × × ×

（前略）

さておつれさん私が殊更此の手紙を書きます理由は、最早お聞き及びの事と思ひますが宅の長男貢事去る二月四日に發病一週間自宅療養をして居りましたが、流行感冒は腸を冒しまして十二日腸出血を二回致しました、そこで翌日は直ちに入院させる事になりました血液檢査の結果はチフスと決定され、都合六週間といふ永い〳〵間共に病院生活を致しました、其間私を最も慰め勵ましてくれましたものは何でしたらう、おつれさん、其慰め勵ましくれましたものゝ爲めに、今貴女に心からの感謝をせねばなりませんので、其御禮の爲めに此の手紙を認めますのですよ。

それは、平日は私は婦人新報を讀みます時にたゞ其中にあります新報を讀むにとゞまりまして、其他の事にはあまり興味を持ちませんでした、處が、病院に居ります間、夜毎に貴女が毎月御のせになります、座右銘を心から味はつて讀みました、其中でも貴女は何心なくお書きになりましたかも知れませんから今貴女にも新たになります様に此處に記るしませう。二月號の「信仰の生活」の内

「今日受くる重荷に對し、今私は感謝の擧はあげ得ないが、然し若し之が聖旨ならば、此重荷を忍びて背負ひたゝんと神に祈る事は出來る」

「汝の擔ふ重荷の愈々重きを覺ゆる時「主よ惠みによりて之に堪へさせ給へ」と祈れ、主は必ず求めしより以上の惠みを給ひて汝を祝し給はん、蓋し悲しみの内にも汝の顔の倚鮮くを見る人も亦其祝福の分前を與へらるゝしのである」

「心配と信仰は決して良き道連れにはなり得ぬ、人が信仰に歩む時心配は自然に姿を消す」

ホームに於て理事會開催

▽二十六日（木） 風俗部特別委員會開催

▽三十日（月） ガントレット、久布白兩姉長谷川きた子女史の葬儀に會葬、午後禁酒ポスター一萬二千五百發送、大會準備の爲め多忙

▽三十一日（火） 赤坂のバラックを引揚げ大久保百人町三六〇の事務所に移る、皆川理事來訪

四月

▽三日（金） 大會用荷物を金澤に發送。

▽六日（月） 金澤市源圓旅館に於て常議員會開催

▽七日（火）――九日迄金澤市 兼六公園内同會館に於て第卅四回全國大會開催

▽十日（金） 午後より富山に於て小崎會頭、ガントレット副會頭宮川姉の講演あり、理事の方々數名出席應援せらる。同夜信州松代支部にて久布白姉講演せらる

▽二十日（月） ミステートより敦賀に新支部設置の通知あり

▽二十四日（金） 矢島先生の御誕生の祝賀會並に子供の獻金式を午後二時より婦人ホームにて開催

▽二十七日（月） 午前十時より婦人ホームに

シエーバー。

以上の三句は如何に私の心を慰め勵ましてくれました事でしたらう。毎夜人靜まりたる時獨り靜かに祈る嬉しさを眞から味ひましたそしてそれはたゞ私丈で喜んで居りません御存じでせうが中島小春さんが丁度私と同時に同じ經驗をお持ちになりました、小春さんは御長男の御病氣の爲め當地縣立病院に、私は東山病院に居りました、互に離れて居りましたので暫くは會ふことさへ出來ませんでした其内小春さんは名古屋のお孫樣の御病氣で名古屋へ其後又々御次男樣御病氣で伊東へ御出になりました、其當時の小春さんの御心中實にお氣の毒とも何ともいへませんでした。それで私は自分が力を得ました前の三句を手紙に認めて今度は小春さんを慰め勵ましました實に主につける者は幸です、二人とも今は感謝の日を迎へる事が出來ました。(後略)

活動

盛岡支部

いつも此小さい支部の爲め何呉となく御心添へ下さます事を深く／＼御禮申し上ます。

殊に先日開かれました全國大會よりは又々色々とたくさんの大切なおみやげを御送り下さいましてありがたうございました、どんなに私共の支部が力強く又活氣づけられた事でございませう。

更に新しい力と勇氣を以つて會の爲めつくし度いとは全會員の一樣な願ひでございます

本二十四日長野副支部長司會のもとに矢島先生の御誕生日を御祝ひ致し本月の例會を午後二時よりバプテスト教會に開き佐藤夫人の大會の報告會を致し又親睦會を開きました、新市内の教會の牧師方をお招きして御祝ひの心をひろく共に致しました。

大阪支部

(1)三月十四日堂ビル中山研究所講堂にて母の會開催、中村久榮姉の「歐洲をめぐりて」本部幹事久布白姉ガントレット副會頭は婦人參政と母の立場に就き講演さる、來會者百五十餘名五時過ぎ感謝の内に散會す。

同當日は三田谷博士の作になる禁酒琵琶歌の演奏ありき。

(2)今日は大大阪市の編入記念日でございます、嘗ての計畫通り西成、東成の兩郡が編入さ

於て理事會開催

▽二十九日(水) ガントレット、川崎兩理事銀婚式の御祝ひに關し東京府廳に赴く

▽三十日(木) ガントレット理事、岡部東京府へ出頭、午後風俗部集會

本部だより

▽第廿五回理事會 三月九日(月)婦人ホームに於て、午前十時より開催

出席者 小崎千代、ガントレット恒、林歌子、皆川せき、守屋東、井深花、川崎正、宮川靜枝、久布白落實

相談事項

1 大會議題審議
2 收入豫算の作成
3 記錄書記の件
4 大會旅費に就て
5 赤坂のバラックに就て

▽第廿六回理事會三月廿三日(月) 婦人ホームに於て

出席者 小崎千代、ガントレット恒、守屋東、久布白落實、ブラックモーア 宮川靜枝、川崎正子、皆川せき、井深花子、

相談事項

れ六十四方哩の大大阪市が今日出現されたのでございます。

私達は此大大阪市の門出を祝すると共に愛する大阪市をより以上住み心地よき都市とならしめたく。

それについては大阪市の教育と風紀の状態を一般市民に知らしめなければならないと存じ作りましたのが別紙印刷物でございます悲しい現れではございますまいか、叫ばすにはゐられません。

今日の此日にと全員出動大いに宣傳と配付につとめてをります。

純潔、禁酒、平和の働き勇ましく国民教育論はがきの販賣もやつてをります、大大阪記念博覧会の開会中とて一番人出の多い、新世界の自由奨以傳道館と谷町三丁目(お城に近い)東部奨以致けの二つを本陣にあて活動致してをります。

大阪府市		
教育費	二、〇二五九九一六圓	（大阪府調査大正十三年度）
酒代	六二八〇七六〇〇圓	（税務監督局調査酒造大正十二年度）
煙草代	二、四六四五四〇一圓	（専賣局調査煙草大正十二年度）
藝妓娼妓花代	二、七二〇八七九二圓	（大阪府調査大正十三年度）

篠山支部

篠山支部河南こみつ姉不断の努力に依り、小さいながら町民に向つて主義を宣傳されてをります。午後日本基督教会にて城のぶ子女史の講演會を開かる、縣立女學校長有志の女學生數十名を引率出席され、又禁酒の歌を以て授けられた。新會員與へられ、夜は多紀郡聯合婦人會支部の婦人修養會で同女史の講演がありました。

おねがひ

いつの間にか六月になりました。讀者の皆様益々御清榮のことゝ存じ上げます。どうぞ御自愛を！

四月の大會が終つたと思つたのもつい此間でしたのにもう六月です。讀者の御方々で上半期の誌代を未だ頂かない向きはどうぞ御送金下さいませんか。為金郵便は參圓以上でなければ出來ませんので、お手數でも何卒よろしくお願致します。

1 會計に對する特別の感謝に就て
2 役員の補缺に就て
3 巡回リストの件
4 五錢袋の新方針
5 事務所建築に就て

▽第廿七回理事會　四月十六日　婦人ホームに於て

出席者　波瀬かめ子、古田とみ子、守屋東子、久布白落實、小泉たね子、井深花子、特別委員　城のぶ子、松宮しん子

相談事項

1 日本婦人參政權協會の今後の方針

▽第廿八回理事會　四月廿七日午前十時より婦人ホームに於て

出席者　小崎千代、ガントレット恒、井深花子、小泉種子、宮川靜枝、久布白落實、淺田みか子、川崎正子、波瀬かめ子

相談事項

1 兩陛下の銀婚式祝賀に就て
2 太平洋問題代表者に就て
3 寄附行爲變更の件
4 五千圓募金に就て
5 日本婦人參政權協會の件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Reports at the convention showed that the Kyofukwai now has 147 local unions with a total of 7,387 members, a gain of about a thousand over last year. The Foreign Auxiliary has 382 members. The monthly magazine, the Fujin Shimpo, has a circulation of 4,000. A membership campaign to increase the membership to 10,000 was started. Mrs. Chiyo Kozaki, of Tokyo, was re-elected president and Mrs. Ochimi Kubushiro general secretary. The convention next year will be held at Nagoya.

The foreign auxiliary was represented by Mrs. J. S. Kennard, president, and Mrs. Gilbert Bowles who is a member of the Riji, and a number of workers in and near Kanazawa.

If their right to the suffrage should be measured by their ability to conduct a worthwhile convention, the women of the Kyofukwai certainly ought to have the vote, for the three days convention was filled with reports, addresses, disesssion, and business and the program carried out with a dignity and dispatch that would do credit to more than one men's organization, even to many legislative bodies, in other countries as well as in Japan. Many men who oppose giving them the franchise might well sit in their sessions and learn how to carry on business, as well as how to consider and deal with subjects vital to human welfare instead of the trivial matters with which they so frequently waste their time.

(*Mark R. Shaw.*)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

the last session of the Diet, when the bill for the restriction of licensed prostitution by prohibiting the issuing of further licenses to prostitutes and keepers of brothels—which would automatically abolish the system in six year, the term for which licenses are issued —was defeated by a vote of 157 to 33. The fact, however, that 53 members of the Diet had had the wisdom and moral courage to vote for the bill was cause or great encouragment. It was the sign of a new day.

TEMPERANCE WORK IN ALL PRIMARY SCHOOLS

Owing to her ill health from over work, Miss Azuma Moriya, head of the L.T.L. department and work in the primary schools, was not able to be present. Her report, read by another, told of the campaign to send literature to all of the 25,000 primary scools in Japan, the supplies already, having been sent to nearly half the number. Funds for this work have been raised by the "50 sen bags", and something over ¥ 3,000 is still needed for this year, if all the schools are to be reached. The discussion on temperance work brot out the fact that because of drinking habits themselves or ignorance of the scientific facts about alcohol, or both, many of the teachers in the primary schools were incapable of giving scientific temperance instruction. This condition, combined with indifference on the part of many officials, resulted in lax enforcement of the Juvenile prohibition law. Resolutions were passed (1) urging members of the Kyofukwai to visit the schools in their districts and instruct the teachers, (2) petitioning the Government to limit the amount of sake produced, (3) petitioning the Minister of Home Affairs to enforce the Juvenile Law, (4) asking the national headquarters to send lecturers to the schools, and (5) petitioning the Educational Department to put scientific teaching on alcohol and tobacco into the readers in the primary schools.

PUBLIC MASS MEETING

On Wednesday evening, Aprill 8th, a public mass meeting was held in the City Auditorium with over a thousand in attendance. Addresses were given by Mrs. Ochimi Kubushiro, Miss Shizue Miyagawa and Miss Uta Hayashi.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

time has now come for the Kyofukwai to include suffrage in its official program and to put the whole strength of the society back of the movement. After free discussion the matter was left to the executive committee, for further consideration.

At the opening session, on Tuesday morning, a telegram of congratulation and good wishes was read from Madame Kaji Yajima, now 93 years old, who, altho confined to her bed, still takes an active interest in the work which is to such a large degree the result of her untiring efforts thru the years. A number of local and prefectured government officials brot greetings and words of wellcome also at the first session.

Perhaps the high-water mark of the convention was reached on Thirsday morning, during the discussion of finances, when the delegates present over-subscribed the fund of ¥ 1820 needed to make the society entirely self-suporting from now on. Heretofore the Kyofukwai has been receiving some aid from the World Woman's Christian Temperance Union funds, but from this year the aid that has been sent here is to go to other more needy fields. The money from abroad has amounted to ¥ 6820 which has helped to pay the salaries of the secretaries. To provide this amount in Japan this year each of the fifteen riji accepted the responsibility of raising ¥ 333 making a total of ¥5,000. The remaining ¥1820 was being considered by a group of wamen already facing many financial difficulties in carrying on their work. Suddenly one delegate suggested that they "raise the money right here" and started the fund with a twenty-five yen contribution. Others followed, until only seventy yen was needed. A "hat collection", using the hat of one of the delegates who wears foreign clothes and therefore a hat, brot in the necessary amount with fifteen sen extra. The membership dues were also increased to provide additional funds. They have been 60 sen per annum. From now on ¥1.20 is to be sent to the national office, and the local dues can be as much more than this as the local uniondecides.

During the conference hour on anti-prostitution work it was decided to use "10 sen bags" from now on in place of the "5 sen bags", or envelopes, which have been used to gather in funds for purity campaigns. Each of the nineteen district superintendents was asked to take 10,000 bags to have filled in her district. Mrs. Matsumiya, reporting for this department, told of the campaign for the anti-prostitution measures in

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THIRTY-FOURTH ANNUAL CONVENTION OF THE JAPAN W. C. T. U.

KANAZAWA, JAPAN, APRIL 7, 8, 9, 1925

WOMAN SUFFRAGE URGED BY LEADERS, ORGANIZATION SELF-SUPPORTING FROM THIS YEAR, WOMEN PLAN AGGRESSIVE PROGRAM FOR PROHIBITION, PURITY, PEACE AND POLITICS

By Mark R. Shaw, Tokyo.

Meeting in the Public Auditorium in the beautiful Kenroku Park in Kanazawa April 7-9, the thirty-fourth annual convention of the Kirisuto-kyo Fujin Kyofukai (Japan W. C. T. U.), with 120 official delagates present from Hokkaido to Taiwan and Chosen, planned a more agressive campaign for social and moral reform in Japan during the coming year. Seeking the conservation of the material, social and spiritual values in society thru their three-fold program for Prohibition, Purity and Peace, an additional factor was stressed this year, namely—*politics* or woman suffrage. The great majority of the leaders and delegates expressed the growing conviction that the right of the ballot was an essential means of accomplishing their other aims. Without it they were greatly handicapped, they believed, in their efforts for social and moral progress.

The discussion hour on suffrage was lead by Mrs. Ochimi Kubushiro, general secretary of the Kyofukai and president of the Japan Woman's Suffrage Association. "Is not the ballot the key with which we can unlock the doors that imprison our sisters?" she asked, in a stirring address. 'Without it, how can we liberate our woman who are slaves in the system of licensed prostitution? We must have the vote for the protection of our homes, our children and society. Thousands of woman have gone from their homes into the factories. Many are living under awful conditions. New conditions create new demands. To protect themselves and their children in this modern industrial age, women must have the right to vote. If we work with all our powers we may rescue some of the women who are down, but with the ballot we could save them much sooner, and prevent other thousands from being dragged down." Thus far the campaign for suffrage has not been on the official program of the organization and the leaders have participated in the movement only as individuals. Many felt that the

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室から

新緑に輝く初夏の頃は人の心もすが〳〵しい。人々が皆青春の明るさに生きる時である。三百年の老木にも春は梢に甦る。夏は葉毎に希望を盛りあげる、人生も同じだ、自然界に春が來るやうに、夏が來るやうに、さうして秋と冬とが來るやうに、人生も年毎に其心は四季折々に目に見えぬ變化をする。

早いこと、もうぢきに一年の半ばを越さうとする。かうなると仕事に追はれるやうなものだ、そんな氣持ちになる。せい〳〵仕事を追つかける位の心と餘裕のゆとりが望ましい。これは働いたことのある人達の思ふことだらう。

五月六月合併號を大會號として出すことになつたことを前以てお知らせして置きたかつたと思つたが出來なかつた、お許しを乞ふ。

今度シカゴに日本人の矯風會が出來るとのことで今月は婦人新報を百部送つた。だん〳〵海外に誌友や會員の殖えてゆくことはほんとうに嬉しい。この喜びは實務にあたつてみてなるほどと合點のゆく微妙な味ひです。

守屋東氏が今度南洋に行かれることになつてゐるので、あちらからの興味ある「このごろ」が寄せられることであらう。(宮川靜枝)

消息

▽矢島楫子氏 四月廿四日午後二時から婦人ホームで、九十三回のお誕生日を祝された。

▽小崎會頭、ガントレット副會頭、皆川會計、渡瀬理事、小泉理事川崎理事、宮川理事等金澤の大會後富山支部を訪ひ講演會に出席。

▽久布白幹事 大會の歸途沼田支部を訪ふ。

▽十時山陽部會長 大會の歸途高岡市聯合婦人會の講演會に出席。

▽林副會頭 大會の歸途福井支部を訪ふ。

▽守屋幹事 四月廿五、六の兩日新潟に開かれたる日本禁酒同盟の大會に出席。

▽和田富子氏 四月廿四日新生協會主催講演會に出席のために上京婦人ホームに滞在された。

▽山田やす子氏 東京聯合婦人會勞働部長たる同氏は支那の視察旅行より歸京、目下婦人ホームに起居さる。

▽小泉たか子氏 廿七日理事會に出席のため上京。

▽林歌子、小城のぶ子、十時菊子、渡邊常子の諸氏、五月十三日より十六日まで芝協調會館にて開催の全國社會事業大會に出席のため上京、婦人ホームに滞在されたり。

▽東ケ崎紫子氏 御良人並令嬢と共にサンフランシスコより久方ぶりにて歸朝さる、朝鮮支那方面も視察さるゝ筈で、九月頃歸米さるる豫定、目下婦人ホームに滞在さる。

▽アラックモーア氏 興望館の隣保事業に盡し努力された東洋英和女學校長たりし同女史は六月の豫定を變更して五月上旬カナダに歸へられた。

社告

婦人新報定價

本號に限り 一部四拾錢

一部二十錢 郵税五厘

半年分一圓二十錢 郵税共

一年分二圓四十錢 郵税共

(但し海外は郵税別)

◇廣告御希望の方へは詳細お知らせ致します。

◇送金は凡て振替が便利でございます。

◇誌代は前金、切手代用は一割增。

振替口座東京三二四六九

電話四谷六五六〇番

編輯及事務所婦人矯風會本部

大正十四年五月廿五日印刷
大正十四年六月一日發行

發行兼印刷人 矢島楫子

編輯人 久布白落實

發行所 東京市外大久保百人町三百六十番地 婦人新報社

印刷所 東京市小石川區久堅町百八 株式會社博文館印刷所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA